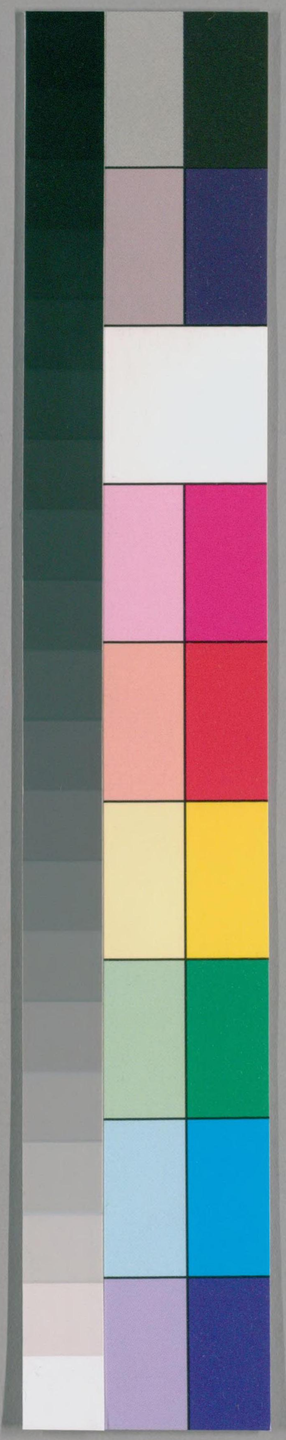
文昌堂泉譜 自壹至五 全

827
86
別圖
5-7
1-2



国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

物之鍾奇而有異如古泉之鼎陰琴
未可膚見善淡之物傳於今者概古泉之鼎陰琴
者然也故古之善琴者必取桐之
陰之善泉者必擇山之顛
已而淡而存焉是以多宜古
好之者亦多宜古

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

827-86

文昌堂泉譜序

物之經久而存者莫如古泉。周(殷盤)鼎(彝)漢尊
不可(浔)湮(沒)見秦漢之物傳於今者獨(唯)古泉
為然也故好古之士詩之好之未朝与
潢土戈易取由来久也故漢土之錢
亡於彼而存於此者不為不多宜其
之好之者衆也余自少無它嗜好獨
好集古泉有藏古泉者百方購之及

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

後徐家江戸奮癖復歩搜索益
力於是名家好事之所藏謁資養
貧之篋好之三十餘年始得償者
志上自秦漢六迄明清南唐西蜀
僭偽諸國其他朝鮮
狄以至
本朝歷代之所鑄秉得而
藏之一寓目焉則數千載之上千
萬里之外其精粗巽治亂之類分画別
焉其為樂也不亦大乎迺
造函而藏之又為泉譜鑒為
諸子孫嗟夫物聚則散必然之理矣
至怪者百業之後要又安能保其
不散聚文政十年戊子五月

彰考館總裁青山延于序

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

文昌堂泉譜序

物之經久而存者莫如古泉般盤周鼎不可得見秦漢之物傳於今者唯古泉為然也故好古之士往往好之本朝與漢土交易所由来久也故漢土之錢比於彼而存於此者不為不多宜世之好之者衆也余自少無它嗜好獨好集古泉有藏古泉者百方購之及後徙家江戸舊癖復發搜索益力於是名家好事之所藏竭資斧覓之蓋好之三十餘年始得償宿志上自秦漢下迄明清南唐西蜀僭偽諸國

大正
6. 2. 7
購求

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

其他朝鮮交趾西洋北狄以至
本朝歷代之所鑄盡得而藏之一寓目爲則數千
載之上千萬里之外其盛衰治亂可坐而致爲其
爲樂也不亦大哉爰類分區別造函而蔵之又爲
泉譜纂爲五卷傳諸子孫嗟夫物聚則散必然之
理無足怪者百歲之後吾又安能保其不散哉
文政十年戊子五月彰考館惣裁青山延宇序

大五
6.2.7
圖東

凡例七則

一錢志及西清古鑑欽定錢錄所載錢文較之真
錢不啻大小異形字體亦失真今此譜所載皆打
真錢亦可以見其真面目也然吾
邦所存古錢不止于此然余所藏勝品異域所鑄今見存者不少古色蒼然有極
可愛者然以其非正品不甚貴尚故所藏弄尤少
觀者勿誚焉

一西土大錢
本邦所傳有甚希者唐肅宗乾元錢史思明順天

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

錢宋理宗淳祐錢劉福通龍鳳錢今世存者不過
數品而古泉家所藏率多贋物至其真者價極貴
余未能獲之故闕焉
一此譜所載有極難得者若建中咸亨皇祐堅宋
當伍及貞祐錢存者不過一二而余適獲之真為
奇遇然世人見真錢者或少非具眼者不能辨其
真偽也
一二十二史食貨志所載考索甚粗今皆訂之一
古今錢書鍾官圖經攷索尤精恨其所載不多而
往々有失考者今訂之

一近者吾藩管内增井村正宗寺掘土中得大甕
中有古錢數萬若半兩貨泉僅有數品至唐後錢
有一品至數千者而明初錢僅有大中洪武則數
百年前所瘞可知矣然此時絶無今所謂珍奇者
宜其難得也余聚古泉五十年于今漢魏唐宋已
下古錢稱為難獲者一旦完聚可謂厚幸矣故譜
以示来者云

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

文昌堂錢譜卷之一

正品

本朝鑄錢蓋始于銀錢至天武天皇十二年詔曰自今以後必用銅錢莫用銀錢元明天皇和銅元年正月武藏國秩父郡獻和銅二月始置鑄錢司夏五月始行銀錢秋七月令近江國鑄銅錢二年秋八月廢銀錢一行銅錢二文紀年號始于此

承用無文錢漢以後之錢漢以故秦多存者云

按自是以前古以來承用

右和同開珎銭　元明天皇和同中所鋳字文明
（千百三十年元年六十三百六十八年）
坦製作精妙頗似唐銭元銭今世存者甚多後世
鋳銭初必鋳和同銭二質大異製作点粗比之古
和同以格甚下云
（注　中穴　共二仝前
薄緣楷書肉太　一
裏字不分明）

右萬年通寶銭　廢帝天平寶字四年春三月勅
（千百三十年桓武天皇大效千百十九年
私鋳銭雑銭金銀銅銭
並行）

曰銭為用行之已久公私要便莫甚於斯頃者私
鋳稍多偽濫既半頗将禁断恐有騒擾宜造新様
與舊並行庶使無損於民有益於國其新銭文曰
萬年通寶以一當舊銭之十

（注　仝前　中穴二分二厘
薄緣楷書肉太　一）

右神功開寶銭　稱徳天皇天平神護元年秋九
（千百三十五年即位即天平神護元年之
注八分二厘　中穴二分一厘
原緣仝上　一）

月更鋳新銭文曰神功開寶枚此銭二様仝世存
者甚多

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

徑七分八厘　中穴二分一厘
薄緣楷書肉細者　一

仝上肉大者　一
但狹緣

右和同開珎錢　元明天皇和同中所鑄字文明
和同以格悬下云
徑 中穴 共二仝前
薄緣楷書肉大　一
裏字不分明

右萬年通寶錢　廢帝天平寶字四年春三月勅
[天皇大效千四百九年]　[千四百二十年 程漢年契云 勅鑄新錢之銀銭 并行]

曰錢為用行之已久公私要便莫悬於斯頃者私
鑄稍多偽濫既半頗將禁斷恐有騷擾宜造新樣
與舊並行庶使無損於民有益於國其新錢文曰
萬年通寶以一當舊錢之十

徑　仝前　中穴二分二厘
薄緣楷書肉大　一

徑八分二厘　中穴二分一厘
原緣仝上　一

右神功開寶錢　稱德天皇天平神護元年秋九
[千四百二十五年即位即天平神護元年之]
月更鑄新錢文曰神功開寶故此錢二樣今世存
者甚多

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

径八分二厘　中穴二分三厘
隶縁楷書肉細　一

右隆平永寶錢　桓武天皇延暦十五年冬十一
月乙未詔曰制新錢為隆平永寶
径七分　中穴二分二厘
薄縁不正楷書肉細　一

右富寿神寶錢　嵯峨天皇弘仁九年冬十一月朔詔改
錢文曰富寿神寶

径七分六厘　中穴一分九厘
仝上肉太　一

径八分　中穴仝上
狭縁仝上　一

径六分八厘　中穴二分四厘
狭縁楷書肉中等　一

右承和昌寶錢　仁明天皇承和二年正月鋳新
錢文曰承和昌寶以新幣之十當舊錢之十新舊
並用、

径仝前　中穴二分二厘
隶縁楷書肉細　一

径六分五厘　中穴仝上
狭縁仝肉太　一

右長年大寶錢　仁明天皇嘉祥元年九月鋳新
錢文曰長年大寶以一當舊錢之十新舊並用、

径六分二厘　中穴二分
薄縁不正仝肉太　一

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

径六分三厘　中穴二分一厘
狹緣楷書肉中等　一

径五分九厘　中穴一分七厘
濶緣楷書肉中　一

右饒益神寶錢　清和天皇貞觀元年四月更鑄
新錢文曰饒益神寶以一當舊之十新舊並用

径六分　中穴一分九厘
狹緣不正楷書肉中　一

径六分二厘　中穴二分二厘
仝上肉細　一

右貞觀永寶錢　清和天皇貞觀十二年正月鑄

径六分二厘　中穴一分九厘
濶緣楷書肉中　一

右寬平大寶錢　宇多天皇寬平二年五月鑄、

径六分　中穴一分八厘
仝上　一

右延喜通寶錢　醍醐天皇延喜七年十一月鑄

径六分三厘　中穴一分七厘
狹緣楷書肉細　一

右乾元大寶錢　村上天皇天德二年三月鑄被
此錢泉志為乾文寶鍾官圖經為乱文大寶立謬
又按天德以後鑄錢久廢　歷朝承用古錢至天

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

正中始鑄錢、

徑七分八厘 中九二分
狹緣楷書肉中 一

右天正通寶錢

永祿元年改元後二十二年
正親町天皇天正中鑄

徑七分四厘 中穴一分七厘
薄緣楷書肉太 一

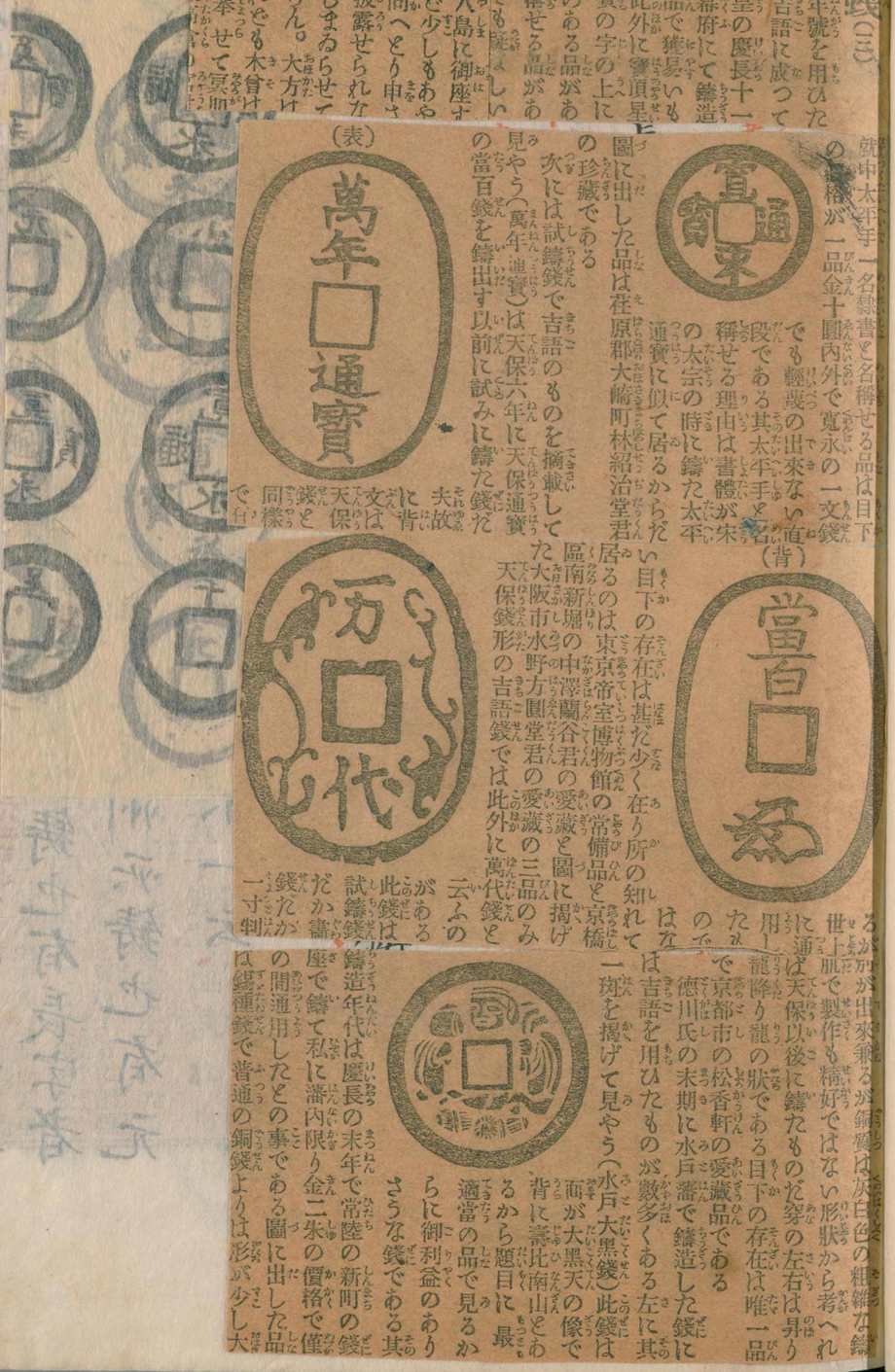
右文祿通寶錢

徑七分八厘
厚緣 左上

後陽成天皇文祿中鑄潤緣者

天正十五年即位後二十三年
文祿元年ヨリ二十二年ノ間

銀錢也、



目出度古錢(三)

正用品では慶長通寶錢で年號を用ひたものでは有るが慶び長しと吉語に成つて居る圖に出したは後陽成天皇の慶長十一年に德川幕府にて鑄造した普通品で獲易いものである此外に寶頂星と稱して寶の字の上に細長い星のある品がある又大樣だの小字だのと名稱せる品がある此二品は珍品で間に有つても餘り吉事にてあらんずれ。また八島に御座す大やけ幷に二位殿女房達なども少しもあやまりおしさせなる事なくて向へとり申させ給ふべし。かくとだにも披露せられなば二位殿なをは大やけをぐしまゐらせて向へさまにおはする事もあらん。大方は帝王の御事今に始めぬ事なれども木曾はやすの官、烏羽の四の宮討奉せて冥期

就中太平手一名鬱書と名稱せる品は目下の處が一品金十圓內外で寬永の一文錢でも輕蔑の出來ない直段である其太平手と名稱せる理由は書體が宋の太宗の時に鑄た太平通寶に似て居るからだい目下の存在は甚だ少く在り所の知れて居るのは東京帝室博物館の常備品と京橋區南新堀の中澤蘭谷君の愛藏と圖に揭げた大阪市水野方圓堂君の愛藏の三品のみ天保錢形の吉語錢では此外に萬代錢と云ふのがある此錢は試鑄錢だか書座で鑄て私に藩內限り金二朱の價格で僅の間通用したとの事である圖に出した品は鐚錢で普通の銅錢よりは形が少し大

(表)

(背)

ろが出來乘るが銅質は灰白色の粗雜な鑄世上肌で製作も精好ではない形狀から考へれに通ば天保以後に鑄たものだ穿の左右は昇り用一龍降り龍の狀である目下の存在は唯一品たので京都市の松香軒の愛藏品である德川氏の末期に水戶藩で鑄造した錢にはなれば吉語を用ひたものが數多くある左に其一斑を揭げて見やう(水戶大黑錢)此錢は面が大黑天の像で背に壽比南山とあるから題目に最適當の品で見るからに御利益のありさうな錢である其鑄造年代は慶長の末年で常陸の新町の錢座で鑄て私に藩內限り金二朱の價格で僅の間通用したとの事である圖に出した品は鐚錢で普通の銅錢よりは形が少し大

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

正中始鑄錢

徑七分八厘 中九二分 狹緣楷書肉中 一

右天正通寶錢

【永祿元年改元二十二年 元年ハ二十二百三十八年】

正親町天皇天正中鑄

【元年ハ二十二百三十三年】

徑七分六厘 中穴二分弱 厚緣楷書肉太 一

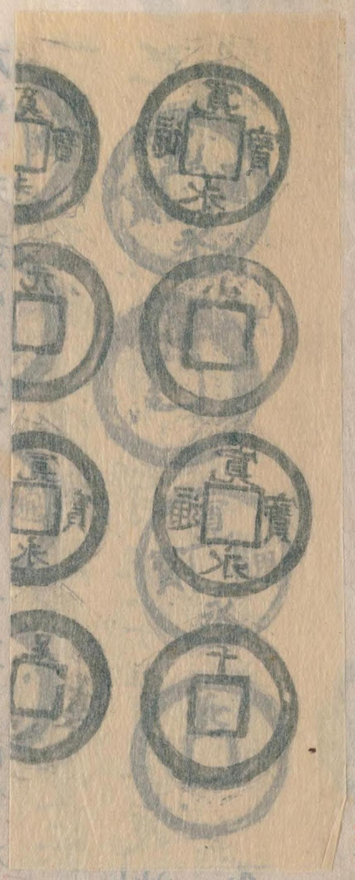
右慶長通寶錢 後陽成天皇慶長十一年鑄

【三六六年】

徑仝前 中穴一分九厘 仝前肉中 一

右元和通寶錢 後水尾天皇元和中鑄

【慶長七年即位即二七二年之 元年ハ二七五年】



徑七分八厘 中穴一分七厘

中村吉右衛門

市川八百藏
尾上梅幸
市村羽左衛門
市川猿之助
澤村宗十郎

一月吉祥日

二長町

中村吉右衛門

電話下谷五八二番

村摩

金牌

東京 野村外吉

品質……芳香……經濟に於て世界石鹸界の白眉として内外國の社交界家庭に愛用せられ名譽の金牌を受領す

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2

ガラス使用

正中始鋳銭

徑七分八厘　中穴二分
狹緣楷書肉中
一

右天正通寶銭

永祿元年丙徑二十二百十八年
天正十八年
天正中鋳

徑七分六厘　中穴二分弱
厚倣楷書肉太
一

右慶長通寶銭

後陽成天皇慶長十一年鋳

徑四厘　中穴一分七厘
徑仝前　中穴一分九厘
仝前肉中
一

右元和通寶銭

慶長七年即徑卽二十七年之
元年ハ二十七年之

後水尾天皇元和中鋳

一月吉祥日
二長町
村
塵
市川八百藏
尾上梅幸
市村羽左衛門
市川猿之助
澤村宗十郎
電話下谷五八二番
金牌
昌實……芳香……經濟に於て世界石鹸界の白眉として内外國の社交界家庭に愛用せられ名譽の金牌を受領す

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右寛永通寶錢　明正天皇寛永中鑄按背文有
一星者又有仙字者陸奥仙臺亦鑄也有長字者
肥前長崎亦鑄也有佐字者佐渡州亦鑄也有元
字有足字者有自一至十者種ニ不一云、

右寛永文字錢　靈元天皇寛文中鑄背有文字、

右寛永通寶錢　明正天皇寛永中鑄按背文有
一星者又有仙字者陸奥仙臺所鑄也有長字者
肥前長崎所鑄也有佐字者佐渡州所鑄也有元
字有足字者有自一至十者種々不一云、

徑七分九厘　重量一分九厘
厚像楷書字体肉細
三表上有文字

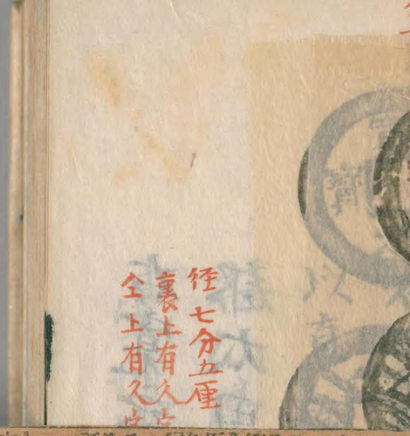
寛永七年即位即三九年之

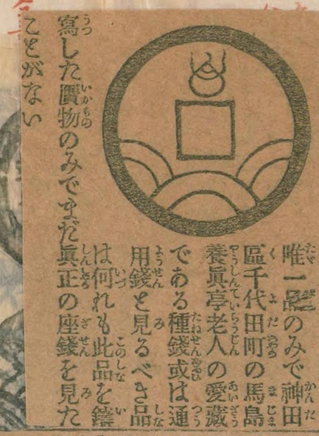
右寛永文字錢　靈元天皇寛文中鑄背有文字、

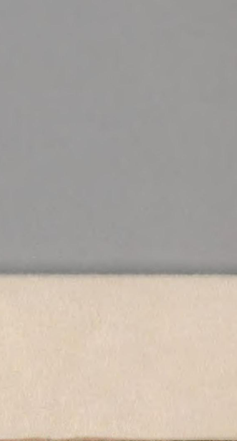
寛文三年即位即三三年之

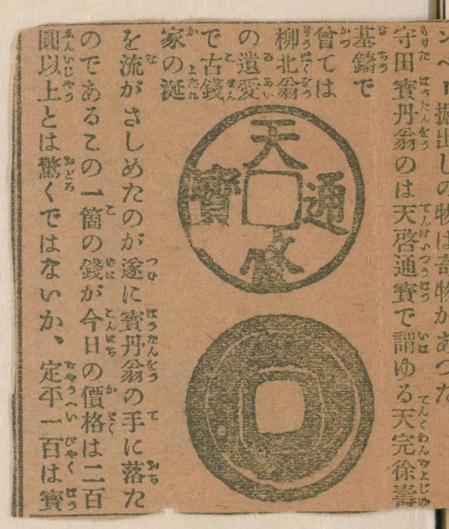
和漢年契云一十三年鑄一錢

徑七分九厘
重像楷書字体肉細
三表上有文字









◉珍しき古錢

（三井集會所の古錢會）

古錢會の五月例會は十七日三井集會所の德川式書院において開かれたが諸家の出品中には成島柳北翁も曾て見たことのない珍奇の古錢もあつて大に振つた

先づ衆目を拭はしめたのは此の道に深き嗜味を有する小佶盦主人の出品だ此の號のみでは知らぬ人もあらうが誰である種錢或は通用錢と見るべき品は何れも此品を鑄寫した實物のみでまだ眞正の座錢を見たことがない

午後四時神戸發　翌々日午後一時門司發、
群山丸　一月八日　門司（下ノ關）釜山、木浦、群山、仁川行
但シ群山丸ハ馬山ニ寄港致候
午後一時神戸發翌日午後五時門司發
安平丸　一月七日　門司、釜山、元山、城津、清津行
正午神戸發翌日午後五時門司發

◎歐洲行最捷路　毎金曜日浦鹽經歐州行急行列車ニ連絡
鳳山丸　一月七日　後五時　敦賀發　一月十三日　正午　浦鹽着
大阪商船會社　内鮮部連絡船　大阪出帆
慶運丸　八日（前七時）神戸　鹿島　大島　沖繩　宮古　八重山　基隆行
（大阪發）（前十時）（神戸發）
十巖丸　一月八日　（後七時）　鹿島　大島　沖繩行
（後二時）（大阪發）
名島丸　一月七日　細島　油津　鹿島行
我洲丸　一月九日　（後八時）（神戸發）
櫛田丸　一月十二日
大阪神戸御乘船鹿兒島大島沖繩行ハ切符別記乘船券發賣所ニ於テ發賣致候
◎神戸商船會社　毎日大阪出帆
大阪商船會社　松多度津中國各港門司下關行

寛永七年即位即三九年之

右寛永通寶錢

一星者

肥前長崎

字有足

天皇陛下には二十七日午前十時御出門陸軍士官學校生徒卒業證書授與式場へ行幸あらせらるべき旨二十一日仰出されたり

道筋左の如し

吹上門より右へ代官町左へ新道を出で右へ堀端に沿ひ富士見町一丁目五番地角左へ富士見町通り市ヶ谷門跡を出で左へ右へ陸軍士官學校

◎皇后宮行啓

皇后陛下には廿三日午前十時廿分御出門青山練兵場内に開設さるゝ愛國婦人會總會に行啓あらせらるゝ旨仰出さる御道筋は左の如し

青山御所より右へ櫻田門を出で霞ヶ關を上り溜池大使館前より赤坂門跡を出で左へ右へ青山通り青山御所に沿ひ右へ陸軍大學校内御休憩所より左へ左へ青山練兵場に入り式場へ還幸の節は式場より右へ陸軍大學校前へ左へ青山通り左へ右へ赤坂門跡を上り溜池大使館前櫻田門より霞ヶ關へ霞ヶ關離宮外廓に沿ひ左へ同離宮へ霞ヶ關離宮より裏霞ヶ關を下り左へ外務省前通り櫻田門を入り坂下門へ御順路

◎東宮華族會館御成

東宮殿下には廿三日午後二時華族會館に行啓主馬寮員の催しになる打球會御覽の爲御成る由

◎竹田宮敢火御參拜

竹田宮同妃兩殿下には十九日午前九時京都御發車十二時二十分敢火驛御著御饗應ありしく御參拜殿へ御安着西内苑司、植村御陵守長、高市郡長等に拜謁を賜はり其より御參拜の上午後二時敢火驛御發車京都に向はせられたり宮日奉迎送者は京都府知事、大林京都府、各神社各宮司各學校

を感じたりと

◎綿糸小麥の格付

農商務省にては曩に大阪三品東京商品兩取引所より出願せる綿糸及び小麥の格付に關し調査中なりしが既に格付賣買を實行せる生糸、棉花及び大麥取引上の實績を終へたるを以て更らに大麥格付賣買の實績の調査に着手すべく其の材料蒐集の上は六月中に綿糸小麥の格付の許否を同時に決する方針なりと

◎市會選擧形勢

總選擧の競爭は區に依りて多少の反動を來し市會議員半數改選に影響を及ぼせる向あり京橋區の如きも其の一なるが二級退任者關直彥氏の跡は希望者多く關派より高島嘉右衛門氏、鳩山派より袴田讓三郎氏、渡邊派より酒井泰氏、松下派より吉野利平、南鼎兩氏又公民倶樂部より西實之助、西直資兩氏無所屬にて岡本武次氏の諸氏現はれ松尾清次郎氏も希望あれども結局同氏は立たざるべし吉野、南兩氏の内は讓合ひて多分吉野氏起つ事となるべく殘兩氏の内は何

和漢年契云元祿八年鑄元字金銀、寶永元年鑄寶字錢
今書云櫻町天皇即位年即元文元年鑄文生寶

右寶永通寶錢　東山天皇寶永五年鑄當十錢

文曰寶永通寶漫有永世久用字明年停廢不行

往一寸一分八厘　緣一分四厘　中穴三分
字離内外緣　裏緣二分二厘　緣中上右下左有永世久用四字

往七分五厘　中穴二分
裏上有久字右一
仝上有久字下有二字右一
表紋緣　裏厚緣
仝前

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

和漢洋製古今錢譜 元字金銀 宝永元年鑄

右寶永通寶錢

和漢洋製古今錢譜 秘ニ東山天皇 宝永元年鑄

東山天皇寶永五年鑄當十錢

往一寸一分八厘 縁一分四厘 中穴三分
字雛内外縁 裏縁二分二厘 縁中上面下左有永世久用四字

和漢洋製古今錢譜 元字金銀 宝永元年鑄

右寛永一星者肥前長崎有足

午後四時神戸發 翌々日午後一時門司發
群山丸 一月八日 門司(下ノ關)、釜山、木浦、群山、仁川行
但シ群山丸ハ馬山ニ寄港致候
午後一時神戸發翌日午後五時門司發
安平丸 一月十日 門司、釜山、元山、清津行
正午神戸發翌日午後五時門司發

◎歐洲行最捷路 毎金曜日浦鹽發歐州行急行列車ニ連絡
鳳山丸 一月七日 後五時 敦賀發
一月十日 正午 浦鹽着
大阪商船會社 内航部汽船 大阪出帆
廣運丸 (前七時(神戸發)鹿島大島沖繩
八日(大阪發)宮古八重山基隆行

(前十時
大阪發
後七時
神戸發)
鹽島
大島
沖繩
行

一月七日(後二時 大阪發)
一月九日(後八時 神戸發)
細島 油津 鹿島 行
一月十二日
大阪神戸御乘船鹿兒島大島沖繩行は切符記乘船券發賣所に於て發賣致候
毎日大阪出帆
◎神戸高松多度津中國各港門司下關行

右寛永一星者肥前長崎有足

皇后宮行啓

皇后陛下には廿三日午前十時卅分御出門青山練兵場内に開催さるゝ愛國婦人會總會に行啓あらせらるゝ旨仰出さる尚還御の節ハ左の如し

吹上門より右へ代官町左へ新道を出で右へ馬場に沿ひ富士見町一丁目五番地角左へ富士見町通り市ヶ谷門跡を出で左へ右へ陸軍士官學校

士官學校行幸

天皇陛下には二十七日午前十時御出門陸軍士官學校生徒卒業證書授與式場へ行幸あらせらるべき旨二十一日仰出されたり

宮廷記事

清浦子爵(大阪) 清浦子爵は二十一日午後七時二十分歸京の途に就けり

松岡農相(大阪) 松岡農相は二十一日午前八時發

◎全國小賣業大會(山田) 全國小賣業大會は五百人二十二日には參宮し二見浦にて懇遊會を開く筈

◎松岡農相(大阪) 松岡農相は二十一日午前八時發

◎全國小賣業大會(山田) 全國小賣業大會は五百人二十二日には參宮し二見浦にて懇遊會を開く筈

◎清浦子爵(大阪) 清浦子爵は二十一日午後七時二十分歸京の途に就けり

宮廷記事

天皇陛下には廿三日午前十時卅分御出門青山練兵場内に開催さるゝ愛國婦人會總會に行啓あらせらるゝ旨仰出さる尚還御の節ハ左の如し

吹上門より右へ代官町左へ新道を出で右へ馬場に沿ひ富士見町一丁目五番地角左へ富士見町通り市ヶ谷門跡を出で左へ右へ陸軍士官學校

皇后宮行啓

皇后陛下には廿三日午前十時卅分御出門青山練兵場内に開催さるゝ愛國婦人會總會に行啓あらせらるゝ旨仰出さる尚還御の節ハ左の如し

吹上門より右へ櫻田門を出で霞ヶ關を左へ右へ赤坂門跡を上り獨逸大使館前より赤坂門跡を出で左へ右へ青山通り青山御所に沿ひ右へ練兵大學校内御休憩所へ、御休憩所より左へ左へ青山練兵場に入り式場へ

還御の節ハ式場より右へ陸軍大學校前へ左へ青山通り左へ右へ赤坂門跡を上り獨逸大使館前より赤坂門跡を出で左へ右へ霞ヶ關離宮外廓に沿ひ左へ同離宮へ霞ヶ關離宮より裏霞ヶ關を下り左へ外務省前通り櫻田門を入り坂下門へ御順路

東宮華族會館御成

東宮殿下には廿三日午後二時華族會館に行啓主馬寮員の催しになる打球(ポロ)を御覽御成の由

竹田宮敢火御參拜

竹田宮同妃殿下には十九日午前九時京都御發車十二時二十分敢火驛御着後二時敢火驛御發車十二時二十分敢火驛御着後二時敢火驛御發車十二時二十分敢火驛御着後二時敢火驛

右寛永通寶

一星者

肥前長

字有足

午後四時神戸發　翌々日午後一時門司發

群山丸　一月八日　門司（下ノ關）（釜山、木浦（群山、仁川行

但シ群山丸ハ馬山ニ寄港致候

午後一時神戸發翌日午後五時門司發

安平丸　一月十日　門司、釜山、元山、城津、清津行

正午神戸發翌日午後五時門司發

◎歐洲行最捷路　毎金曜日清國發歐州行急行列車ニ連絡

鳳山丸　一月十一日　後五時　敦賀發　一月十三日　正午　浦鹽著

大阪商船會社　内航部汽船　神戸　大阪出帆　神戸　鹿島　大島　沖繩　奥蓮丸　八日（前七時）神戸發　大阪發（前十時）　大阪發（後七時）　鹿島　大島　沖繩行

大阪發（後七時）　鹿島　大島　沖繩行

十巖丸　一月八日　神戸發

呂島丸　一月七日（後二時）大阪發（後八時）細島　油津　鹿島行

敷島丸　一月九日　神戸發

八阪神戸御乘船鹿兒島大島沖繩行は切符別記乘船券發賣所にて發賣致候

毎日大阪出帆

◎神戸商松多慶津中國各港門司下關行

寛永七年即位御三方

天皇陛下には二十七日午前十時御出門陸軍士官學校生徒卒業證書授與式場へ行幸あらせらるべき旨二十一日仰出されたり

◎士官學校行幸

道筋左の如し

吹上門より右へ代官町左へ新道を出で右へ堀端に沿ひ富士見町一丁目五番地角左へ富士見町通り市ヶ谷門跡を出で左へ右へ陸軍士官學校

◎皇后宮行啓

皇后陛下には廿三日午前十時卅分御出門青山練兵場内に開催さるゝ愛國婦人會總會に御立寄りあらせらるゝ旨仰出さる尚當御の節霞ヶ岡離宮に御立寄りあらせらるゝ由仰出道筋は左の如し

坂下門より右へ櫻田門を出で霞ヶ岡を上り獨逸大使館前より赤坂門跡を出で左へ右へ青山通り青山御所に沿ひ右へ陸軍大學校内御休憩所へ、御休憩所より左へ左へ青山練兵場に入り式場へ

還御の節は式場より右へ陸軍大學校前へ左へ青山通り左へ右へ赤坂門跡を上り獨逸大使館前より右へ霞ヶ關離宮外廓に沿ひ左へ同離宮へ霞ヶ關離宮より霞ヶ關を下り左へ外務省前通り櫻田門を入り坂下門へ御順路

◎東宮華族會館御成

東宮殿下には廿三日午後二時華族會館に行啓主馬寮員の催しになる打球

◎竹田宮敢火御參拜

竹田宮同妃兩殿下には十九日午前九時京都御發東車十二時二十分歿火驛御着御饗應ありしく御陸軍部隊御使殿へ御安着四内宮司、植村御陸軍守衛、高市郡長等に拝謁を賜はり其より御參拜の上午後二時歿火驛御發東京御着日參拜の上午後川より奈良縣知事、大阪府知事、京都府知事、京都市各宮司各學校

を感じたりと

◎綿糸小麥の格付

農商務省にては曩に大阪三品東京商品兩取引所より出願せる綿糸及び小麥の格付に關し調査中なりしが既に格付賣買を實行せる生糸、棉花及び大麥取引上の實績を終へたるを以て更らに大麥格付賣買の實績の調査に着手すべく其の材料蒐集の上は六月中に綿糸小麥の格付の許否を同時に決する方針なりと

◎市會選擧形勢

總選擧の競爭は區に依りて多少の反動を來し市會議員半數改選に影響を及ぼせる向あり京橋區の如きも其の一なるが二級退任者關直彥氏の跡は希望者多く關派より高島嘉右衛門氏、鳩山派より袴田瀧三郎氏、渡邊派より酒井泰氏、松下派より吉野利平、南雲兩氏又公民倶樂部より西實之助、西直實兩氏無所屬にて岡本武次氏の諸氏現はれ松尾清次郎氏も希望あれども結局同氏は立たざるべし吉野、南雲兩氏の内は讓合ひて多分吉野氏起つ事となるべく又麹町、兩氏の内は何

和漢年契云元祿八年鑄
元字金銀、宝永元年鑄
字宝字銀
仝書云櫻町天皇即位ノ
御代文元年錢文宝宝

右寶永通寶
文曰寶永通寶

往二寸六品ノ

往一寸二分八厘　緣一分四厘　中穴三分
字離内外緣　裏緣二分二厘　緣中上面下左有永世久用四字

和漢年契云明和四年鑄當四錢

明和五年鑄當四錢

往七分五厘　中穴二分
裏上有久字右一
仝上有久字下有二字右一

裏緣
仝前

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

和漢古銭 元禄八年鋳 右寛永通寶 文字 寛永通寶 永 通寶 寛永 通寶 永 通寶 寛永 通寶 永 通寶 寛永

右寛永
一星者
肥前長
字有足

寛永七年即位

士官學校行幸

天皇陛下には二十七日午前十時御出門陸軍士官學校生徒卒業證書授與式場へ行幸あらせらるべき旨二十一日仰出されたり

道筋左の如し

吹上門より右へ代官町左へ新道を出で右へ馴端に沿ひ富士見町一丁目五番地角左へ富士見町通り市ヶ谷門際を出で左へ右へ陸軍士官學校

皇后宮行啓

皇后陛下には廿三日午前十時卅分御出門青山練兵場内に開設さるゝ愛國婦人會總會に行啓あらせらるゝ旨仰出さる尚當御の節の道筋は左の如し

青山御所より赤坂門際を出で左へ右へ青山通り青山御所に沿ひ右へ陸軍大學校内御休憩所へ、御休憩所より左へ左へ青山練兵場に入り式場へ

還啓の節は式場より右へ陸軍大學校前へ左へ青山通り左へ右へ赤坂門際を上り獨逸大使館前紀尾井町へ出で左へ右へ霞ヶ關離宮外廓に沿ひ左へ同離宮へ霞ヶ關離宮より裏霞ヶ關を下り左へ外務省前通り櫻田門を入り坂下門へ御順路

東宮華族會館御成

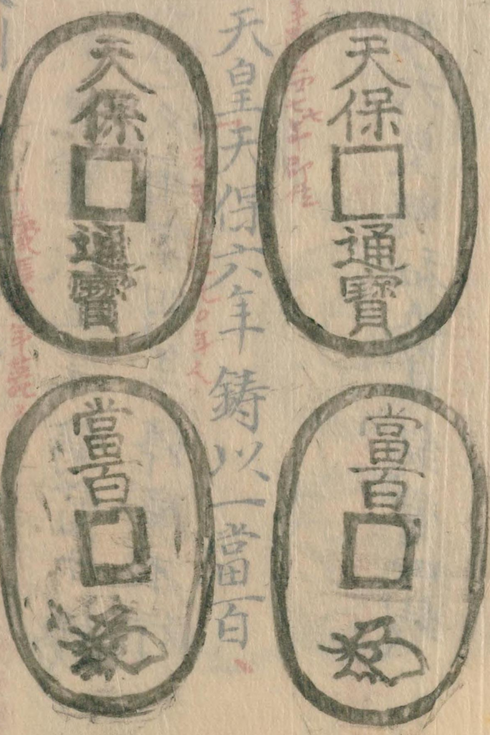
東宮殿下には廿三日午後二時華族會館に行啓主馬寮員の催しになる打球競技を御覽遊ばさるゝ由

竹田宮敢火御參拜

竹田宮同妃兩殿下には十九日午前九時京都御發車十二時二十分敢火驛御着御遊嬉遊はしく御遊納仲殿へ御安着西内兩司、植村御陵守長、高市郡長等に拜謁を賜はりまより御參拜の上午後二時敢火驛御發車京都に向はせられたり宮日奉迎送者は奈良縣知事、大阪京都府知事、京都府警察部長、京都市長、京都府會議長、京都市會議長、京都商業會議所會頭、京都商工會議所會頭、京都織物會社長、京都織物組合長、京都染工組合長、京都織物同業組合長、京都織物同業組合長、京都織物同業

右寛永久字錢　後桃園天皇安永中常陸久慈郡太田鑄鉄錢漫有久字

横径一寸七厘　中穴二分七厘五毛
竪径一寸六分二厘　仝前
小判形　狹縁　表上天保下通寶　裏上當百下書判



右天保通寶錢　今ト上天皇安永中常陸久慈郡太田鑄鉄錢漫有久字

径七分八厘　中穴一分七厘五毛
狹縁字大肉中等

右永樂通銀錢文祿慶長

径八分五厘　中穴一分七厘五毛
狹縁字小肉中等

右享保通寶錢享保中鑄私鑄錢也非正品

径八分五厘　中穴一分七厘五毛
狹縁字大肉小離内外縁

右銀代通寶錢京師亦鑄未行而罷

右仙臺通寶

仙

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右寛永久字錢　後（明和八）
都太田鑄鉄錢漫有々

横径一寸七厘　中穴二分七厘五毛
竪径一寸六分二厘　仝前
小判形狭縁　表上天保下通寶
裏上當百下書判　一

右天保通寶錢　（文化十四年以来七年間行）
今上天皇天保六年鑄以一當百、（元年八二九年ノ事ノ）

径七分八厘　中穴一分七厘五毛
狭縁字大肉中等　一

右永樂（通）（宝）銀錢文祿慶長間豊臣秀吉鑄以一當百、（慶長三年薨ス）
（元年八二五六年ノ事ノ）（元年八二五二年ノ事ノ）

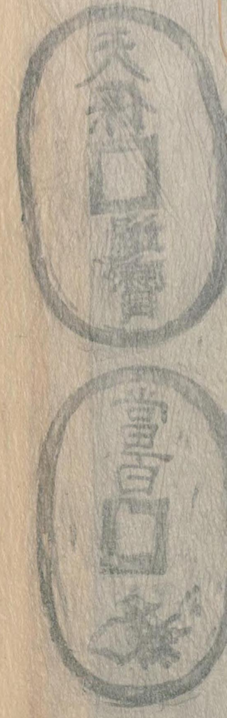
径八分五厘　中穴一分七厘五毛
狭縁字小肉中等　一

右享保通寶錢（元年八二三七六年ノ事ノ）享保中鑄私鑄錢也非正品、

径八分五厘　中穴一分七厘五毛
狭縁字大肉小離内外縁　一

右銀代通寶錢京師平鑄未行而罷、

右仙臺通寶錢（元年八二四一年ノ事ノ）天明中陸奥仙臺鑄鉄船文曰仙臺通寶、



国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2

ガラス使用

戯勝品、

径七分九厘　中穴二分
表薄縁字大肉太
裏全周囲有紋　一

右長命富貴銭、

径八分　中穴一分八厘
厚縁字小肉中準
裏狭縁右有縦筋紋
左有縦筋紋　一

右和同珍開銭、

径八分　中穴一分八厘
薄縁上有縁紋右左紋下橋紋　一

右城廓銭、

径七分六厘　中穴一分二厘
薄縁　上廂紋　右左内郭紋
左左内桔梗紋下上藤紋　有紋　一

右家號銭、

径七分六厘　中穴一分八厘
狭縁　自上左右下大藤紋　下小紋(第十)　一

右藤花銭、

径七分八厘　中穴二分三厘
狭縁上大下定左右各三日月字肉太　一

右大定両月銭、

古賀風発

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

径七分八厘　中穴一分九厘
狭縁　左右各三ヶ宝珠

右雙珠銭、

径七分五厘　中一分六厘
薄縁　字肉太　上永　下樂　右馬尾(尾後足)　左馬頸(脱前)

右永樂馬圖銭、

径七分八厘　中穴一分七厘五毛
厚縁　字肉太　右花　左林　上下各櫻枝花

右花林銭、

径七分七厘五毛　中穴二分一厘
狭縁　上南右弥蛇、左無阿　二

径仝上　中穴一分八厘
厚像　自右上左上終　薄像　字大肉太
右下南左下阿、上無　外不明　一

径七分四厘　中穴仝上
薄像　字仝
上南外不明　一

径七分六厘　中穴一分七厘
厚像　字仝

右佛辨銭、

径仝上　中穴二厘
左馬頸
中蛇目(径一分)　一

右寶扇銭、

径八分　中穴径一分八厘
狭像　上追下風　左馬頭　右馬尾(馳馬)　一

右追風銭、

径七分六厘　中穴一分六厘
厚像　上珠馬　下永字　一

右永字銭、

径七分八厘　中穴六分九厘
薄縁　左自上廻下蔭馬　右自上廻下日向馳　二

右馳馬銭、

径九分五厘　中穴二分三厘
薄縁　上左内篆禄字　左馬頭　右馬尾下左右四足　一

右禄字銭、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

径七分八厘　中穴一分九厘
狹縁　左右各三ヶ宝珠

右雙珠銭、

径七分五厘　中一分六厘
薄縁字肉太　上永　下樂　右馬尾(尾後足)　左馬頸(跡前)

右永樂馬圖銭、

径七分八厘　中穴一分七厘五毛
厚縁字肉太　右花　左林　上下各欅枝花

右花林銭、

径七分七厘五毛　中穴二分一厘
狹縁上南右弥記、左無阿　二

径七分八厘　中穴一分八厘
厚像　自右上左上終　一
永字　書像字小

径七分八厘　中穴一分六厘
薄縁自右下向左終　一
右上
赤むあみた佛

径七分八厘　中穴二分
薄像字大肉太
右下南左下阿、
上点　外不明　一

径七分六厘　中穴一分七厘
薄像字大
上南　外不明　一

径七分八厘、中穴二厘
厚像
上扇面宝　左馬頸
右馬尾中蛇目(径一分)　一

右寶扇銭、

径八分　中穴径一分八厘
狹像　上追下風　左馬頸右馬尾(馳馬)　一

右追風銭、

径七分六厘　中穴一分六厘
厚像上珠馬　下永字

右永字銭、

径七分八厘　中穴六分九厘
薄縁　左鎧上蔭畠　右自上至右日向鼬　二

右鼬馬銭、

径九分五厘　中穴二分三厘
薄縁上左内裏禄字　左馬頭
右馬尾下左右四ヶ　一

右禄字銭、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

径一寸五分　中穴二分九厘
隅緣　上左右楠物　下左向四之數　一

右農鶴錢、
径一寸四分五厘　中穴二分九厘
星像　業隶書字大肉大、　一

右皇宋通寶錢常州水户所鑄、
径一寸五分　中穴二分六厘
星像　上布紋　下馬　左三星　右金袋　一

右四寶錢同上、

古泉目録云楡莢半寧
秦始皇二十六年即位之四百四十年之前法也
右半兩錢二品、径寸重並一錢三分、銅質純杰、蓋秦錢也、前漢食貨志曰、秦并天下、幣為二等、銅錢質如周錢、文曰半兩重如其文、通典曰古秤比唐時三之一、開元錢為古七銖以上、今以開元錢較半兩錢則稱一錢五分、左右之半兩、大抵皆秦

文昌堂錢譜卷之二

外國正品

径九分　中穴三分五厘
無緣　右半左兩字大一

径八分　中穴二分五厘
無緣　右半左兩　一

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

半両、今稱一銭者、漢八銖之半両、今稱五六分者、漢四銖之半両也、古今注云、徑寸二分、重十二銖、按、今尺度比古尺度、毎寸贏二分、則比銭徑寸、較古尺得寸二分、與古今注合矣、惟其軽重則歴世久遠、銅質消蝕、固難執一以定之矣、

古泉目錄云八銖錢是也

徑七分八厘　中九二分五厘
無綠　右八半　左兩一

徑八分　中九三分五厘
無後凹字　右八半　左兩一

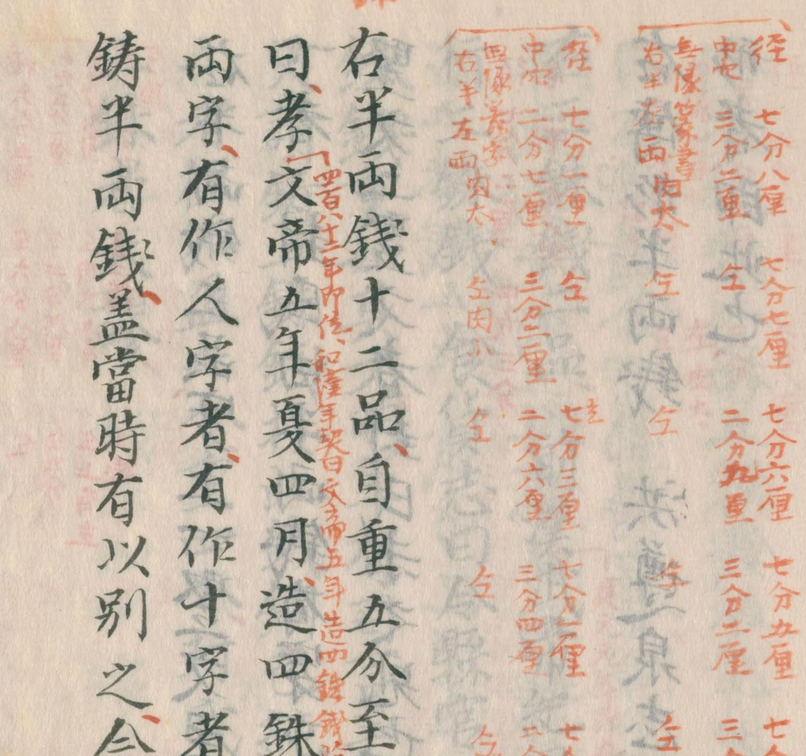
徑七分　中九三分二厘
無像　右半　左兩一

右半両銭三品　前漢書曰高后二年七月行八銖銭按此銭徑八分強重一分所謂八銖銭也、

四七四年即位　和僖年號云高名二年行八銖錢

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2　　ガラス使用

右半兩錢　前漢書曰高后六年行五分錢應劭曰所謂莢錢也、食貨志曰漢興以爲秦錢重難用更令民鑄莢錢法此錢重三分、制作精妙字文明垣銅質輕薄、如紙即莢錢也、顧烜以漢興錢爲莢錢誤、



古泉目錄云四銖

右半兩錢十二品、自重五分至六七分、前漢書曰、孝文帝五年夏四月、造四銖錢、即此也、按半兩兩字、有作人字者、有作十字者、有作小者、吳蜀皆鑄半兩錢、蓋當時有以別之、今不可得而辨矣、

右半兩錢三品、穿上一竪文、重三竪文、又有在穿下者、封氏曰半兩錢有穿下三竪文者、重有一竪文二竪文者、封氏未之見也、

右傳形半兩錢　洪遵泉志、引張台說、半兩有傳形者、即此也、

右三銖錢二品、前漢武帝紀曰建元二年春二月行三銖錢、食貨志曰令縣官銷半兩錢、更鑄三銖錢、重如其文、明年有司言三銖錢輕易作姦詐、更請鑄五銖錢、按此錢銅色純赤、徑七分、重四分、封氏以半兩三竪文為三銖者大謬、

徑八分三厘　中穴三分二厘　内外薄緣　篆書右旦　左錞
全八分　全三分五厘　外薄緣　全　全
全前　全三分六厘　全前　全　全
全七分全厘全三分全厘　内外薄緣　全　全錞
全八分　全二分五厘　全前　全　全

右五銖錢五品　武帝記曰建元五年罷三銖錢行
半兩錢元狩五年罷半兩錢行五銖錢　食貨志
曰公卿請令京師鑄官赤仄一當五錢官用非赤
側不得行　按五銖錢今存者甚少不可枚舉自
漢至魏晉皆用五銖其形制同異今不可得而知矣
此錢徑八分八厘重七分銅色純赤制作尤佳蓋赤
側錢也其字文庸漫制作濫惡者蓋私鑄也

徑八分一厘　中穴三分二厘
外薄緣　右五左銖篆書

右五銖錢徑八分重一錢盡以後(漢)
會以此為三官錢未知何據也姑附于此

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

径八分二厘　中穴三分三厘　有穿上一星、外薄係右五左録篆書
径八分　仝　三分五厘　仝前
仝前　仝　三分三厘
仝七分五厘　仝　三分　有穿下三星
仝八分一厘　仝　三分二厘　仝　五星
仝七分八厘　仝　三分五厘　五字中二星穿上下有穆文
仝　八分　仝　三分一厘　仝
仝　八分二厘　仝　三分三厘　仝前

右五銖錢八品、有穿上一星者、有半星者、有穿下半星者、有三星者、有五星者、有五中二星者穿上穿下有横文者、蓋當時工人之意、亦有別於年代、諦視其制作銅質、皆為漢物無疑也、

径八分三厘　中穴二分八厘　外薄係右五左録
内外緣仝前　四隔線連外緣

右四出文錢　後漢靈帝紀曰、中平三年鑄四出文錢、晉書食貨志曰、獻帝作五銖錢、而有四道連於邊緣、有識者尤之曰、豈京師破壞此錢四出也、及董卓尋戈火焚宮室、乃勑蠻賊西幸長安、悉壞五銖錢、更鑄小錢、枚此錢制作濫惡、蓋私鑄也、

径八分五厘　中穴三分五厘　外薄係右五左録
内外緣仝　五分書右録左五　五中上有一星

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右傳形五銖錢　頗烜曰劉備鑄　按此錢徑八分六厘
重六分余銅色純赤似太仄錢今　世存者頗多

徑七分八厘　中穴二分八厘　内外薄緣　篆書右五左銖
徑八分　全二分四厘　全　狹緣　全前

右五銖錢二品、隨書食貨志曰梁初唯烹師及三
吳荊郢江湘梁益用錢、頗烜曰天監元年鑄徑一寸
文曰五銖重四銖三參二黍、張台曰五銖錢皆無孔
郭、唯此一種有之、　按此錢徑八分二厘重八分制作

頗佳而面漫粗惡者蓋私鑄也、

徑七分五厘　中穴三分七厘　内外薄緣　篆書右五左銖

右五銖錢　隋食貨志梁初古錢有五銖稚錢頗烜錢
譜稚錢徑八分半重四銖文曰五銖源流出於五銖但
稍狹少東境謂之稚錢三吳皆用之　按此錢徑八
分重三分肉薄好潤字文明烜銅色青白制作尤佳

徑七分一厘　中穴三分五厘　穿上下有星
右五　左銖　外狹緣

右兩柱五銖錢　隋食貨志曰梁末又有兩柱錢洪遵泉志以兩柱錢列不知年代品式按此錢徑七分二厘重五分今世甚希

徑七分八厘　中央三分　内外薄外郭綠　倉泉書上大下貨右大左銖　重五分　徑七分六厘　仝二分三厘　内狹外薄像　仝前　右圓　外

右大貨六銖錢　陳書宣帝紀曰太建十一年秋七月辛卯初用大貨六銖錢隋書食貨志曰以一當五銖之十與五銖並行後還當一人皆不便乃相與訛言曰六銖錢有不利縣官之象未幾而宣帝崩遂廢而行五銖竟至陳亡按此錢徑八分二厘制作精妙如洪氏說

徑七分五厘　中央三分二厘　内薄外郭綠　倉泉書右五銖　仝七分二厘　仝二分八厘　仝前

右五銖錢　隋書高祖紀曰開皇元年九月行五銖錢食貨志曰高祖受周禪以天下錢貨輕重不等乃更鑄新錢背面肉好皆有周郭文曰五銖重如其文按此錢徑八分重六分

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2　　ガラス使用

徑七分四厘　中穴二分八厘　穿上一星　背文昌二五左錄

右五銖錢穿上一星、又有傳形者、洪志不載、

徑七分八厘　中穴二分八厘　內背外星緣　篆書右五左錄

右五銖錢　食貨志曰、開皇三年四月、詔四面諸關、各付百錢為樣、不同者、即壞為銅、入官京師及諸州鄙肆之上、皆立榜置樣為准、按此錢徑八分五厘、重一錢、所謂置樣錢即此也、

漢六朝僞品

徑九分　中穴二分五厘　內外俠緣　篆書上大下泉右五左十

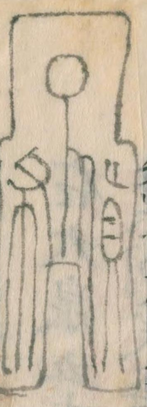
徑四分三厘　穿二分八厘　全範模　全前

全七分四厘　全二分九厘　全前

右大泉五十錢三品、漢書食貨志曰、王莽居攝、變漢制、更鑄大錢、徑寸二分、重十二銖、文曰大泉五十、按此錢大小不一、有制作精妙者、有字文漫昧者、以今尺度之、大者徑九分余、重六分、今世甚多、

徑四分半即徑九分之半

徑九分　重一錢二分小者徑八

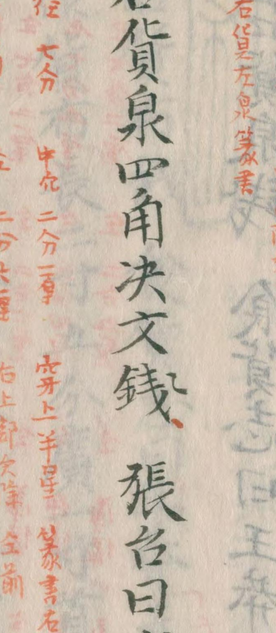


右大泉五十、四角決文錢、按此錢制作尤佳、鍾官圖經云、有正面無文者、即是也、

右貨布錢　食貨志曰、王莽天鳳元年、罷大小錢、改作貨布、長二寸五分、廣一寸、首長八分、有奇廣八分、其圜好徑二分半、足枝長八分、間廣二分、其文右曰貨布、重十五銖、直貨泉二十五、按此錢二樣重並

三錢、制作尤佳、

右貨泉錢　食貨志曰、王莽天鳳元年、罷大小錢、改作貨泉、徑一寸、重五銖、文右曰貨泉、左曰泉、故直一、又以大錢行久、恐民挾不止、更令且行大錢、與新貨泉俱故直一並行、盡六年、毋得挾大錢矣、按此錢徑八分、重七分、今世尤夥、



右貨泉傳形錢　張台曰貨泉有傳形者即是也

右貨泉四角決文錢　張台曰有四角決文即是也

右貨泉錢穿上半星貨傍一星背一星按此錢種類不一正如

張台所說又有重郭余所藏字文漫漶故今不載

右布泉錢　董逌錢譜引石氏曰錢徑寸重四銖懸針書自梁武帝以来有之文曰布泉世謂之男錢梁書曰布泉徑一寸重四銖半婦人帶之即生男也敦煮曰徑寸一分形製精巧字體与貨泉略同疑王莽時鑄按此錢徑八分五厘重九分制作

精巧、銅質字體與貨泉無異、則為莽錢無疑也、且
大黃布刀之類、漢志不載者多、豈止此錢故今附
于此、

径 七分八厘　中穴二分八厘
外緣緣内薄緣
上永下安右五左銖字篆

径 七分七厘五毛　中穴二分八厘
左上

右永安五銖錢　後魏食貨志曰孝莊永安二年
秋詔改鑄文曰永安五銖官自立爐起、旬九月至
三年正月而止、隋書食貨志齊神武霸政之初、承
魏猶用永安五銖、按此錢二樣、潤緣者銅質厚
重製作不佳、細緣者銅質澆薄製作頗佳、又有背
文四出者、有土字者、尤為難得也、

径 七分六厘　中穴三分
内外薄緣
上常下平右五下銖字篆

常平五銖錢　北史齊本紀文宣帝天保四年正
月鑄新錢、文曰常平五銖、隋書食貨志文宣受
禪除永安之錢改鑄常平五銖、重如其文、其錢甚
貴且製造甚精、按此錢径八分、重一錢一分、制
作尤佳今存者甚多、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

徑八分　中穴二分六厘
内外薄緣　右布下泉字兼

右布泉錢　後周書武帝紀曰保定元年秋七月
更鑄錢文曰布泉以一當五與五銖並行　按此
錢徑八分重七分玉筋篆分世甚希

徑八分四厘　仝上
中穴二分六厘　仝　二分八厘
上五下行右文左布字篆小　仝上字大

右五行大布錢　後周書武帝紀曰建德三年六
月壬子更鑄五行大布錢以一當十與布泉並行
按此錢徑八分六厘重一錢一分制作精巧其字
文庚漫者製作不佳蓋私鑄也

右開元通寶錢　新唐書食貨志曰高祖入長安
民間行錢環錢輕小乃鑄開元通寶徑八分九毫
重二銖四參積開元
德四年鑄開元通寶徑八分重二銖四參積開元
重一兩得輕重大小之中
洛并幽益桂等州皆盜鑄泰臣等三錢背

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

文昌堂錢譜卷之三

外國正品

徑 八分七重 中穴二分四重
外廓内薄緣 字隷

右開元通寶錢 新唐書食貨志曰高祖入長安
民間行錢環錢其製輕小凡八九萬緡滿半斛武
德四年鑄開元通寶徑八分重二銖四參積十錢
重一兩得輕重大小之中其文以八分篆隷二體
洛并幽益桂等州皆置監鑄秦王齊王三鑪鑄寫

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

文昌堂錢譜卷之三

外國正品

径 八分七重 中穴二分四重
外廓内薄縁 字隷

右開元通寶錢 新唐書食貨志曰高祖入長安
民間行錢環錢其製輕小凡八九萬緡滿半斛武
德四年鑄開元通寶徑八分重二銖四參積千錢
重一両得輕重大小之中其文以八分篆隷二體
洛并幽益桂荊州皆置監賜秦王齊王三鑪鑄寂

一鑪以鑄、舊唐書食貨志曰、開元錢之文歐陽詢制詞、其字含八分及隸體、其詞先上後下、次左後右、讀之自上及左廻環讀之、其義亦通、俗謂之開通元寶錢、鄭處誨明皇雜錄曰、初進蠟模文德皇后、搨一甲跡、故錢上有搨文、搨此錢徑八分五厘、重八分、稗史類編、有左桃雙桃篆文者、左桃雙桃篆文者、余未之見、今世多存、至篆文者、余未之見、

徑 七分六厘　中穴二分三厘　徑七分八厘　中穴二分三厘
下有甲痕者

梅元字元ノ如シ
蓋左桃手

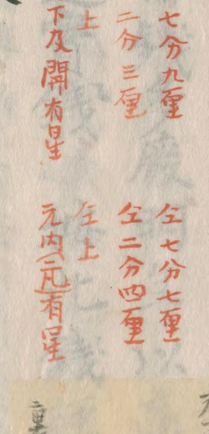
右開元錢背文　李孝義曰背文有兩甲痕者銅色昏濁不至精好、

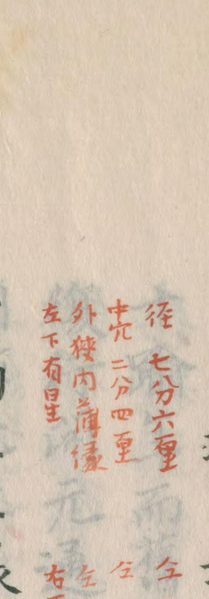
徑七分九厘　中穴二分三厘
外緣內薄緣　字蹟
（元字 元）

梅元字元ノ如シ
蓋雙桃手

右左桃雙桃

徑 七分六厘　仝七分九厘　仝七分七厘
中穴 二分四厘　仝二分三厘　仝二分四厘
外緣內薄緣　仝上　仝上
左下有星　右下及開有星　元內（凡）有星

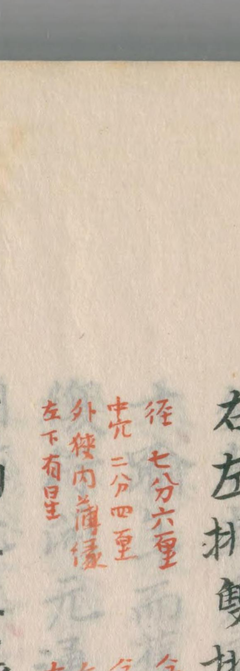




一鑪以鑄舊唐書食貨志曰開元錢之文歐陽
詢制詞其字含八分及隸體其詞先上後下次左
後右讀之自上及左廻環讀之其義亦通俗謂之
開通元寶錢鄭處誨辯曰初進蠟模文德皇后
搨一甲跡故錢上有搨文按此錢徑八分五厘
重八分稗史類編有左桃雙桃篆文者左桃雙桃
今世多存至篆文者余未之見

右開元錢背文　李孝義曰背文有兩甲痕者銅
色昏濁不至精好

右左桃雙桃

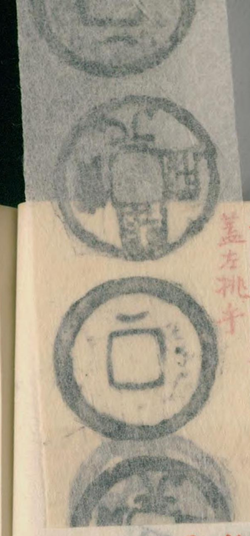


右面星三樣

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

一鑪以鑄、舊唐書食貨志曰、開元錢之文歐陽
詢制詞、其字含八分及隸體、其詞先上後下、次左
後右、讀之自上及左廻環讀之、其義亦通、俗謂之
開通元寶錢、鄭處晦辯曰、初進蠟模文德皇后、
搨一甲跡、故錢上有搨文、梅此錢徑八分五厘
重八分、稗史類編有左桃雙桃篆文者、左桃雙桃
今世多存、至篆文者、余未之見、

梅元字元ノ如シ
蓋左桃ナリ



徑 七分六厘　中穴二分三厘
外廓緣内薄
裏倘緣内厚緣
字疎

徑七分八厘　中穴二分五厘
不明
裏全上　下有甲痕者

右開元錢背文
李孝美曰背文有兩甲痕者、銅
色昏濁不至精好、

徑七分九厘　中穴二分二厘
外狹緣内薄緣　字疎
（元字 元）

梅元字元ノ如シ
蓋雙桃ナリ

不一字ノ右（傍字
雙桃ナリ安南製字

右左桃雙桃

徑 七分六厘　仝七分九厘
中穴 二分四厘　仝二分三厘
外狹内薄緣　仝上
左下有星　右下及開有星

仝七分七厘
仝二分四厘
仝上
元内（凡有星

不一字ノ右
裏上左有痕

右面星三樣

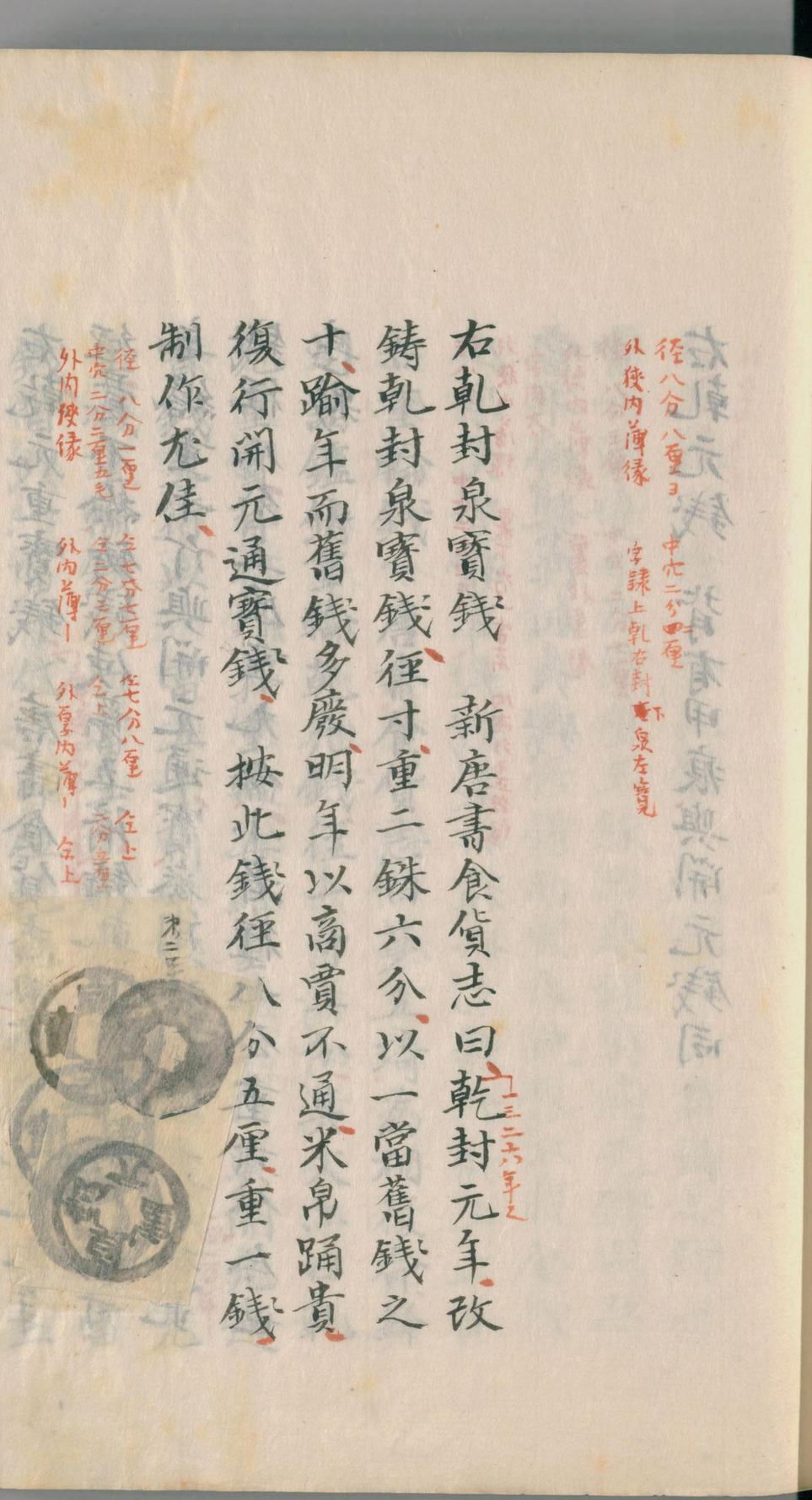
八分八厘　中穴二分四厘
薄緣

不一字ノ右

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

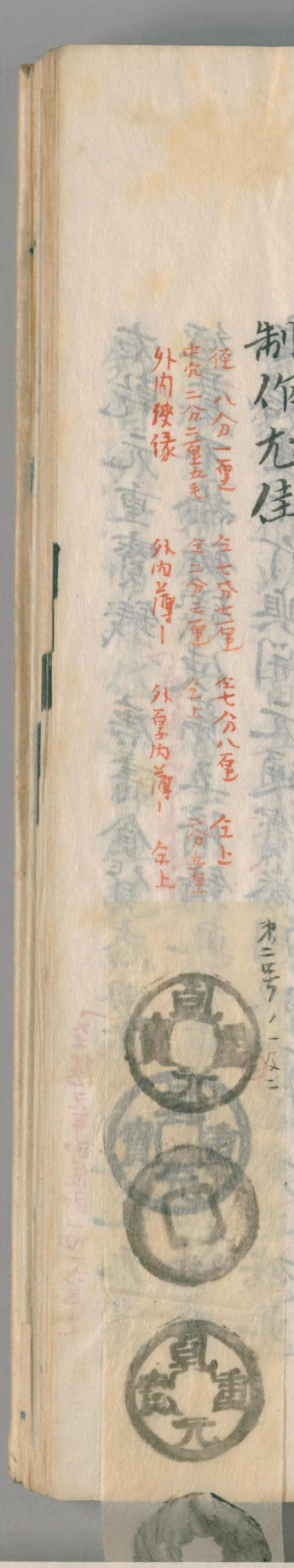
一鑪以鑄、舊唐書食貨志曰、開元錢之文歐陽
詢制詞、其字含八分及隸體、其詞先上後下、次左
後右、讀之自上及左廻環讀之、其義亦通、俗謂之
開通元寶錢、鄭處晦辨曰、初進蠟樣文德皇后、
搨一甲跡、故錢上有搨文、搨此錢徑八分五厘、
重八分、稗史類編、有左桃雙桃篆文者、左桃雙桃
今世多存、至篆文者、余未之見、

右開元錢細緣　按此錢疑非武德中所鑄姑附于此、



右乾封泉寶錢　新唐書食貨志曰乾封元年改鑄乾封泉寶錢徑寸重二銖六分以一當舊錢之十踰年而舊錢多廢明年以高貴不通米帛踊貴復行開元通寶錢按此錢徑八分五厘重一錢

右開元錢細緣　按此錢疑非武德中所鑄姑附于此、

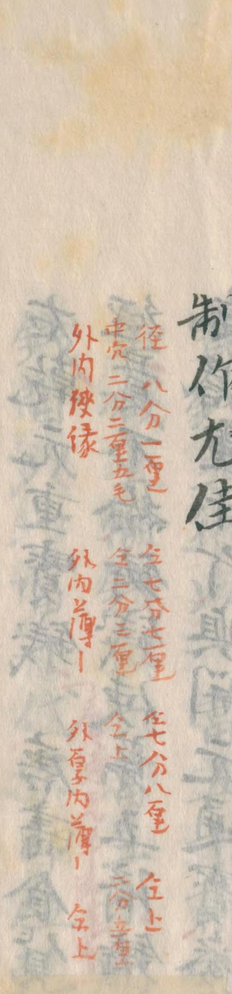


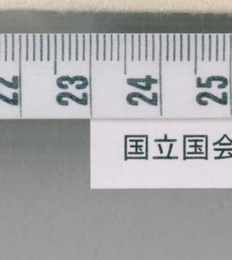
徑八分八重　中穿二分四重
外緣內薄緣　字隸上乾右封下泉左寶

右乾封泉寶錢　新唐書食貨志曰乾封元年改鑄乾封泉寶錢徑寸重二銖六分以一當舊錢之十踰年而舊錢多廢明年以高貴不通米帛踊貴復行開元通寶錢按此錢徑八分五厘重一錢

徑八分一厘　重七分七厘　徑七分八厘　重七分七厘
中穴二分三厘五毛　重二分三厘　重二分三厘
外內緣　外內薄　外內薄

右開元錢細緣　按此錢疑非武德中所鑄姑附于此、





徑八分八重三　中穿二分四重
外緣內薄緣　字隸上乾右封下泉左寶

右乾封泉寶錢　新唐書食貨志曰乾封元年改鑄乾封泉寶錢徑寸重二銖六分以一當舊錢之十踰年而舊錢多廢明年以高貴不通米帛踊貴復行開元通寶錢按此錢徑八分五厘重一錢制作尤佳、

徑八分一重　徑七分七重　徑八分八重
中穿二分三重五毛　全上　全上
外內緣　外內薄　外廓內薄

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右開元錢細緣　按此錢疑非武德中所鑄姑附
于此、

徑八分八重三
外緣內薄緣　中穴二分四重
字隸上乾右封下泉左寶

右乾封泉寶錢　新唐書食貨志曰乾封元年改鑄乾封泉寶錢徑寸重二銖六分以一當舊錢之十踰年而舊錢多廢明年以高貴不通米帛踊貴復行開元通寶錢按此錢徑八分五厘重一錢

右乾元重寶錢　唐書食貨志曰肅宗乾元元年
經費不給鑄錢使第五琦鑄乾元重寶錢徑一寸、
每緡重十斤、與開元通寶參用以一當十、挾此
錢徑八分五厘重九分小者徑七分、重六分、今世
甚夥、

徑八分　中孔二分四厘
外郭內薄緣　裏下有一字右　內兩旁正狹俗

右乾元錢　背有甲痕與開元錢同、

徑八分三厘　中孔二分七厘
外郭內薄緣　裏外重緣
字內大

右重輪錢　唐書食貨志曰第五琦為相復命鑄
州諸鑪鑄重輪乾元錢徑一寸二分、其文亦曰乾
元重寶、背之外郭重輪、每緡重十二斤、與開元通
寶錢並行、以一當五十、肅宗以新錢不便上元元
年、減重輪錢以一當三十、開元舊錢與乾元十當
錢、皆以一當十、代宗即位乾元重寶錢以一當三

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

重輪錢以一當三、凡三日而大小錢皆以一當一、
自葛五琦更鑄犯法者日数百州縣不能禁止、至
是人甚便之、李孝美曰此錢有両品、小者至薄
而文字昏暗、徑寸、重五銖大者極厚而製作精好、
徑寸五分、重十四銖、與唐志舊譜所載不同、按
此錢徑八分五厘、重一錢輪廓重厚、不加孝美說、
但字文昏暗耳、大錢製作精好尤難於得之、又有
當十錢製作如大錢、

徑七分三厘　中穴二分三厘
外郭内薄緣

右小乾元錢　金光襲曰乾元二年新鑄小錢一
當一、洪遵曰此錢重三銖三參、徑與開元錢同、今
世所存至多、計肅宗所鑄而史氏疏畧不載、金氏
之說未知何憑也、

徑　七分八厘　中穴　二分四厘　外郭内薄緣
仝　七分四厘　仝　二分三厘　外郭内狹緣　字肉大

右大歷元寶錢　張台曰大歷是代宗年號、計此
時所鑄字畫端勁、洪遵曰大歷元寶錢徑九分、重
三銖六參、銅色昏濁、字畫遒勁、史氏不敘、制作之
因切攷、代宗寶錄云、大歷四年正月、関内道鑄錢

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

等使菜五琦上言請於絳州汾陽銅原兩監增置
五鑪鑄錢許之豈非當時鑄此耶按此錢大者
徑八分重一錢一分小者徑七分余重六分銅色
昏濁字文漫漶制作不精

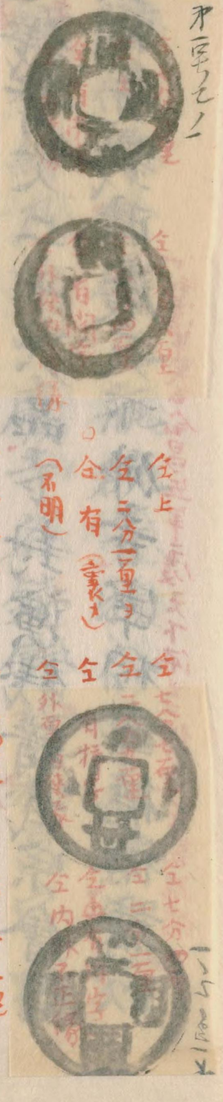
徑 七分四厘
外郭内薄緣 中穴 二分四厘
字肉小

右建中通寶錢 新唐書食貨志曰建中初戶部
侍郎韓洄以商州紅崖治銅多請復洛源舊監鼓
十鑪鑄錢十萬二千緡每千錢費九百德宗從之
（建中元年即位所一四四〇年）

董逌曰建中通寶錢唐德宗鑄 張台曰建中通
寶錢未設用令民間往往有之輕小於開元錢徑
十分重二銖以下文曰建中通寶文字漫暗銅色
純赤肉好薄小殊乖白銅大錢之義 按此錢徑
七分八厘重七分文字漫暗銅色純赤肉好薄小
正如張氏說

徑 八分九厘 中穴 二分四厘
外郭内薄緣 字肉小

右開元通寶大錢　洪遵曰此錢銅質渾厚字文明坦
質之史氏無改鑄大錢之文以意推之唐食貨志
云建中初判度支趙贊採連州白銅鑄大錢一當
十以權輕重安知斯錢非當時所鑄耶　按此錢
徑九分余重一錢三分銅質渾厚如洪遵說蓋建
中中所鑄也

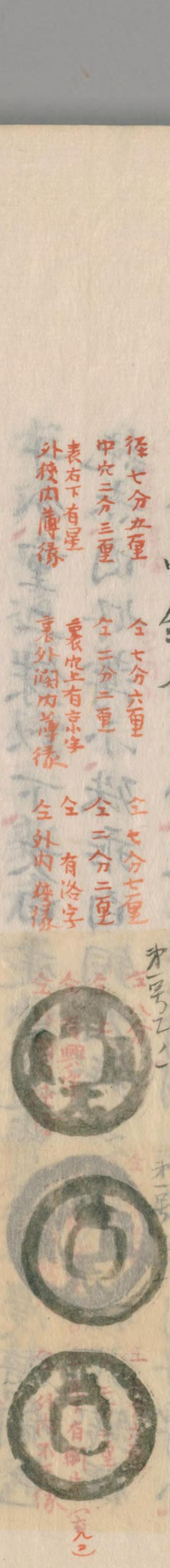


徑七分六厘　全七分三厘
中穴二分一厘弱　全二分
裏右有荊字　全有桂字
裏外廓內俠緣　全上

全七分六厘　全七分五厘
全二分一厘弱　全二分二厘
全有桂字　全左有澤字
全外廓內俠緣　全外廓內俠緣

徑七分六厘　全七分七厘
中穴二分三厘　全二分二厘
表右下有星　全有浴字
裏外廓內薄緣　全外廓內俠緣

徑七分九厘　全七分六厘
中穴二分三厘　全二分二厘
表穴上有京字　全有浴字
裏外廓內薄緣　全外廓內俠緣



徑七分六厘　全七分三厘
中穴二分一厘弱　全二分
裏右有荊字　全有桂字
裏外廓內俠緣　全上

全七分五厘
全二分二厘
全有澤字
全外廓內俠緣

全上
全二分一厘弱　全二分
全上有福字　全下有趙字
全外廓內俠緣　全上

徑七分七厘
中穴二分一厘
裏上有鄂字
裏外廓俠緣

徑七分五厘
中穴二分一厘
裏上有益字
裏外廓內不正緣

徑七分六厘
中穴二分一厘
裏上有益字
裏外廓內不正緣

徑七分八厘
中穴二分一厘
裏
裏外廓內俠緣

全七分六厘
全二分一厘
全有平字
全上內薄緣

全七分五厘
全二分一厘
全上有宣字
全外廓內俠緣

全七分五厘
全二分
全上下有甲辰
全外廓內薄緣

全七分八厘
全二分三厘
全右藍字
全上
全外廓內俠緣

全七分四厘
全二分一厘
全上下有京字
全外廓內俠緣

全七分五厘
全二分三厘
全有昌字
全外廓內俠緣

全上
全二分一厘弱　全
全有（重ヶ）　全
（不明）　全

全上
全二分一厘弱　全
全有（重ヶ）　全
（不明）　全

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

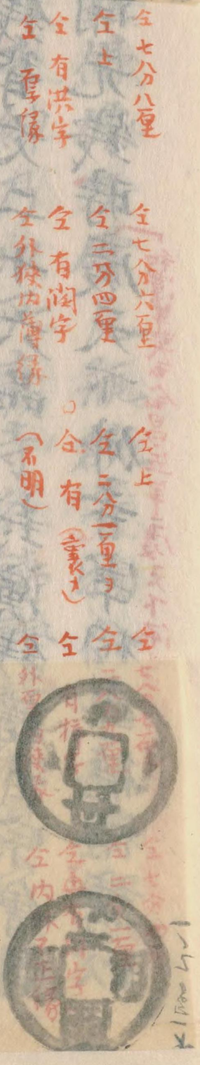
右開元大錢　洪遵曰此錢銅質渾厚字文明坦
質之史氏無改鑄大錢之文以意推之唐食貨志
云建中初判度支趙贊採連州白銅鑄大錢一當
十以權輕重安知斯錢非當時所鑄耶　按此錢
徑九分余重一錢三分銅質渾厚如洪遵說蓋建
中中所鑄也

徑七分六厘　全七分三厘
中穴二分三厘　全二分　全七分五厘
裏右有荊字　全有桂字　全二分二厘
裏外廓俟緣　全上　全左有潭字　全八分
全外薄內狹緣　全上　全有興字
全外廓內狹緣

全上　全七分四厘　全七分六厘
全二分三厘　全二分二厘
全上有福字　全下有越字
全外內狹緣　全上

徑七分八厘　全七分五厘
全上　全二分四厘
全有洪字　全有潤字
全重緣　全外狹內薄緣

全上　全七分五厘
全二分一厘
全上有重字甲痕
全外廓內狹緣



徑七分六厘　全七分五厘
中穴二分一厘　全二分一厘
裏上有益字　全有平字
裏外廓內不正緣　全上內薄緣

徑七分五厘　全七分三厘
中穴二分一厘　全二分二厘
裏　全上有益字
裏外內狹緣　全外不正內薄緣

徑七分五厘　全七分八厘
中穴二分三厘　全二分三厘
裏　全右蠶字
裏外內狹緣　全上

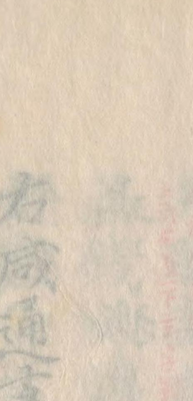
徑七分四厘　全七分五厘
中穴二分一厘　全二分三厘
裏　全上下有富字
裏外廓內狹緣　全外內狹緣

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右開元通寶大錢　洪遵曰此錢銅質渾厚字文明
瑩之史氏無改鑄大錢之文以意推之唐食貨志
云建中初判度支趙贊採漣州白銅鑄大錢一當
十以權輕重安知斯錢非當時所鑄耶　按此錢
徑九分余重一錢三分銅質渾厚如洪遵說蓋建
中中所鑄也

徑七分六厘　全七分三厘　全七分五厘　全七分六厘
中穴二分一厘弱　全二分　全二分　全二分三厘
裏右有荊字　全有桂字　全左有潭字　全有梁字
裏外內俟修　全上　全外漳內俟修　全外內不正像
（不明）　（不明）　（不明）　（不明）

徑七分五厘　全七分六厘　全七分四厘　全七分六厘
中穴二分三厘　全二分三厘　全二分一厘　全二分三厘
表右下有星　全有梁字　全下有蘭字（竟）　全上有福字
外俟內漳俟　全外內不正像　全外內俟修　全下有越字
（不明）　全上



徑七分八厘　全七分六厘　全七分五厘　全七分四厘
中穴二分一厘弱　全上　全二分一厘弱　全二分一厘
裏上有益字　全有平字　全上內漳俟　全外內俟修
裏外內不正像

徑七分五厘　全七分三厘　全七分五厘　全七分四厘
中穴二分一厘　全二分二厘　全二分一厘　全二分三厘
裏有益字　全上有益字　全上有宣字　全右藍字
裏外內俟修　全外不正漳俟　全上有甲辰　全上下有京字
全外內俟修　全外內俟修

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2　ガラス使用

右開元（通寶）大銭　洪遵曰此銭銅質渾厚字文明坦、質之史氏無攺鋳大銭之文、以意推之唐食貨志云建中初判度支趙賛採蓮州白銅鋳大銭一當十、以權輕重安知斯銭非當時所鋳耶、拠此銭徑九分余重一銭三分、銅質渾厚如洪遵説盖建中中所鋳也、

徑七分五厘
中穴二分三厘
表右下有星
外狭内薄縁

徑七分六厘
中穴二分一厘ヨ
裏右有荊字
裏外内狭縁

仝七分三厘
仝二分
仝　有桂字
仝上

仝七分五厘
仝二分二厘
仝　左有潭字
仝外薄内狭縁

仝上
仝上
○（不明宛上如字）（廣）
（不明）

仝七分五厘
仝二分
仝　有梁字
仝外内狭縁

仝七分四厘
仝二分三厘
仝　上有福字
仝外内狭縁

仝七分六厘
仝二分三厘
○仝穴下有鄂字（寛）
仝外内不正縁

仝七分六厘
仝二分一厘
仝下有越字
仝上

仝七分八厘
仝上
仝　有洪字
仝　厚縁

仝七分六厘
仝二分四厘
仝　有潤字
仝外狭内薄縁

仝上
仝二分一厘ヨ
○仝　有（裏大）
（不明）

仝七分七厘
仝二分九厘
仝　有梓字
仝外厚内狭縁

仝七分四厘
仝二分一厘
仝面有丹字
仝内外不正縁

徑七分五厘
中穴二分二厘
裏上有益字
裏外濶内不正縁

仝七分六厘
仝上
仝　有平字
仝上内薄縁

仝七分五厘
仝二分一厘
仝左上有宣字甲痕
仝外内狭縁

仝七分八厘
仝二分三厘
仝右藍字
仝上

仝七分四厘
仝二分一厘
仝上下有京一字
仝外厚内狭縁

仝七分五厘
仝二分三厘
仝　有昌字
仝外内狭縁

徑七分五厘
中穴二分一厘
裏
裏外内狭縁

仝七分三厘
仝二分二厘
仝上有益字
仝外不正内薄縁

仝七分五厘
仝二分
仝上下有甲痕
仝外濶内薄縁

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右開元大錢 洪邁曰此錢銅質薄厚宇文制作
質之文民無改鑄大錢之文以意推之唐會昌
云建中初判度支韓晉
十以權輕重安知斯錢非當時所鑄耶 按此錢
徑九分余重二錢三分銅質薄厚如法更說益宜

右開元通寶錢背文二十六品 封演錢譜武宗會昌
五年鑄開元錢時慶天下佛寺宰相李德裕請以

慶寺銅鐘併像及僧尼瓶碗等物命所在鑄錢楊
州節度使李紳乃以所慶寺名鑄錢背加昌字以
表年號又勅各鑄錢所各加本郡州號名為背文
有京洛興梁荊桂潭廣福越洪潤蜀鄂兗梓襄丹
益宜平揚藍二十三監 按此錢字文昏昧製作
不精至蜀揚二字余未之見

徑七分九厘
中央二分五厘
外郭內深綫
上或右或下云字號

右咸通玄寶錢 封演錢譜咸通十一年桂陽監

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2　　ガラス使用

鑄錢官王彤進新鑄錢文曰咸通玄寶尋奉勅停止、按此錢徑八分五厘、重八分、銅色如開元錢、今世存者總此一品耳、

徑 七分三厘
中郭二分一厘
外濶内狹緣 字肉大

右天福元寶錢 宋白續通典曰、晉天福三年十一月詔三京鄴都諸道州府並聽鑄錢仍以天福元寶為文每一錢重二銖四參十錢重一兩、洪遵曰此錢徑七分、重二銖四參、銅質薄小、字文昏昧、蓋以私鑄不精也、按此錢徑七分九厘、重二分四厘、

徑 六分九厘
中郭二分四厘
外狹内濶緣
字肉小

右漢通元寶錢 宋白續通典曰、漢乾祐元年四月、膳部郎中羅周敬上言請在京置錢監俾銅盡為錢以濟軍用、按此錢徑八分、重八分五厘、今世最多背穿上有甲痕、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

徑八分　仝　七分一厘
中穴二分三厘　仝　二分二厘五毛
外郭内薄緣　外内薄緣
字内小　仝上

徑七分七厘　仝　七分九厘　仝上
中穴二分二厘　仝　二分一厘　仝上
裏外湏内薄緣　仝　内狹緣　仝内薄緣
裏中穴下有一線　仝　右有星痕　仝左上有星痕　仝右下仝上　仝上有星

徑　七分九厘　仝七分一厘　仝七分七厘左毛　仝　八分
中穴　二分一厘　仝二分二厘　仝上　仝二分四厘
裏外湏内狹緣　仝不正緣　仝内薄緣　仝上
裏左有星　仝右有星

右周通元寶錢　五代史周紀論曰世宗即位之明年毀天下銅佛以鑄錢　李孝義曰徑寸重五銖形勢精妙與唐開元錢同　按此錢徑八分一厘重自九分至六七分有制作精妙者又有粗惡者背有穿上下左右有甲痕者有一星者種々不一仝世尤夥

(顯徳元年即位明一六一四年之)

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

外國五代僞品

右開元通寶錢　五代史南唐世家曰鍾謨嘗得罪而大錢慶韓熙載又鑄鉄錢以一當二煜嗣立乾德二年始用鉄錢民間多藏匿舊錢舊錢益少商賈多以十鉄錢易一銅錢出境官不可禁煜下令以一當十　按此錢有隸篆二樣徑八分五厘重八分輪廓深闊合世尤貴

右唐國通寶錢　十國紀年唐史曰元宗以周師南伐及割地歲貢方物府藏空竭錢貨益少遂鑄唐國通寶錢一當開元錢二　馬令南唐書曰烈祖且殂謂元宗曰德昌官布億萬緡以給軍用吾兒善修鄰好北方有事不可失也及元宗即位兵屢起德昌泉布既竭遂鑄唐國錢其文曰唐國通

本邦現在古泉目録云一一一錢及大唐通宝錢南唐李璟所鑄之果如李璟之福八年即位即一方三年之

外國五代僞品

右開元通寶錢　五代史南唐世家曰、鍾謨嘗得罪而大錢慶韓熙載又鑄鉄錢以一當二、煜嗣立乾德元年之例二六二年之、乾德二年、始用鉄錢民間多藏匿舊錢益少商賈多以十鉄錢易一銅錢出境官不可禁煜下令以一當十　按此錢有隸篆二樣徑八分五厘、重八分、輪廓深闊、合世尤夥

本邦現在古泉目録云一一錢及大唐通宝錢南唐李璟所鑄今案如李璟夫稱八年即位即一音三年之

右唐國通寶錢　十國紀年唐史曰、元宗以周師南伐及割地歲貢方物府藏空竭錢貨益少遂鑄唐國通寶錢一當開元錢一　馬令南唐書曰、烈祖且殂謂元宗曰、徳昌官布億萬緡以給軍用吾死善修鄰好北方有事不可失也及元宗即位兵屢起徳昌泉布既竭遂鑄唐國錢其文曰唐國通

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2　　ガラス使用

外國五代僞品

右開元通寶錢　五代史南唐世家曰、鍾謨嘗得罪而大錢慶韓熙載又鑄鉄錢、以一當二、煬嗣立乾德二年、始用鉄錢民間多藏匿舊錢益少商賈多以十鉄錢易一銅錢出境官不可禁煬下令以一當十　按此錢有隸篆二樣徑八分五厘、

乾德元年立訂一六二三年之

本邦現在古泉目録
三一一一錢文大唐通宝錢南唐李璟唐錫之果如李璟天福八年即位即一方三年之

重八分、輪廓深闊、今世尤夥

右唐國通寶錢　十國紀年唐史曰、元宗以周師南伐及割地歲貢方物府藏空竭錢貨益少、遂鑄唐國通寶錢、二當開元錢一、馬令南唐書曰、烈祖且殂謂元宗曰、德昌官布、億萬緡以給軍用吾冤起德昌泉布既竭、遂鑄唐國錢、其文曰唐國通

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

外國五代僞品

徑八分　全七分九厘　外五字
中穴二分三厘　全一分九厘
外廓内淺條　上
字肉大　字篆小

右開元通寶錢　五代史南唐世家曰、鍾謨當得罪而大錢慶韓熙載又鑄鉄錢以一當二、煜嗣立乾德二年、始用鉄錢民間多藏匿舊錢舊錢益少商賈多以十鉄錢易一銅錢出境官不可禁煜下令以一當十　按此錢有隸篆二樣徑八分五厘、重八分、輪廓深闊、合世尤夥、

本邦現在古泉目録
三一一一錢文大唐通寶錢南唐李璟所鑄全異如李璟天福八年即位即一方三年之

右唐國通寶錢　十國紀年唐史曰、元宗以周師南伐及割地歲貢方物府藏空竭錢貨益少遂鑄唐國通寶錢二當開元錢一　馬令南唐書曰、烈祖且殂謂元宗曰、德昌官布億萬緡以給軍用吾歿善修鄰好北方有事不可失也及元宗即位兵屢起德昌泉布既竭遂鑄唐國錢其文曰唐國通

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

寶、按此錢徑八分五厘、重一錢、銅色多白者、背有圓點者頗少、

徑 七分四重
中穿 二分二重
外内薄緣 各諒

右大唐通寶錢、馬令南唐書曰、元宗鑄大唐通寶錢與唐國錢通用、數年漸擘、百姓盜鑄極為輕小、按此錢徑七分二厘、重六分、銅色同唐國錢、

徑 七分三重
中穿 二分四重
外緣内薄緣 各諒肉大、

右永平元寶錢、前蜀王建鑄、按此錢徑八分、重七分、銅色純赤、制作不佳、今世存者至希、

大順二年癸酉即一五九二年之

徑 七分五重 全上 全七分六重 全七分四重 全七分五重
中穿 二分四重 全二分 全二分三重 全二分三重
外緣内薄緣 全上 全上 外郭正内狹緣
宋錢大(通正元宝) 全上 全上肉小(天漢元宝) 全上肉大 全上(光元元宝)

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右通正天漢光天錢五品前蜀王建鑄

徑七分八厘　仝　七分三厘
中央二分二厘　中央二分三厘
外肉薄俠　外肉薄俠
字跡大（乾德元寶）　仝上（咸康元寶）

右乾德咸康（各元寶）錢二品前蜀王衍鑄（皇明四年即位即一五七八之）

徑七分九厘　仝七分六厘
中央二分三厘　仝二分一厘
外肉薄俠　仝上
字跡大上廣下政　仝上

右廣政通寶錢後蜀孟昶鑄（淵清帝即位即一五九五年之）　按此錢徑七分五八分小者徑七分五厘重並八分今世存者頗少

徑八分
中央二分四厘
外肉薄俠
字跡大肉大

右乾亨重寶錢（一五六面字跡）南漢書曰高祖乾亨元年（一元年八一六二九年之）鑄

按此錢徑八分五厘、重八分、制作頗精、然掘土所得、銅花斑駁、字文不明云、

徑 七分九厘
中穿 二分二厘
外郭内狹緣
字隸内太

右天賛通寶錢、〔唐高祖武徳四年之〕契丹主阿保機鑄、按此錢徑八分、重八分、輪郭廣潤、背有甲痕、此錢久在地中、銅花斑駁、通寶二字終可辨也、今世存者至希、

中穿 二分二厘
徑 七分三厘
外内狹緣
字隸太

右應暦通寶錢、〔応暦元年即位即一六二年之〕遼穆宗鑄、按此錢徑七分五厘、重七分、亦掘土所得、字文漫漶、今世至希、

徑七分九厘　全上
中穿二分四厘　全上
外狹内薄緣　全上
字隸内太　全上（字美）

全七分四厘
全二分六厘
廣　全上
穿　全上
穿内上有黎字

右天福鎮寶錢、〔天福十二年之一五九六年之〕晉天福中、交趾國所鑄、按董逌以此為晉錢、然銅質字文與晉錢不同、背有黎字、故斷為交趾錢、

安南

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2　　ガラス使用

文昌堂錢譜卷之四
外國正品

大宗大宗

右宋通元寶錢 宋太祖開寶中鑄 按背文穿上下左右或有一星或有月文

撥此錢徑八分五厘重八分制作頗精整摹拓甚
得銅花疑字文不明云

泰定通寶

泰定通寶

泰定通寶 晉元熙中鑄 按背文與晉錢不同背有
八分重八分輪郭廣潤背有
銅花疑模鑄二字終可辨也今世存者亦多

重十分重十分

重十分 徑八分重八分 按背文與晉錢不同背有
泰定二字終可辨也今世存者亦多

國立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2　ガラス使用

文昌堂錢譜卷之四

外國正品

徑八分五重　仝七分九重　仝分
肉二分　仝上　仝上
外廓內狹像　仝上　仝上
字隸左上有星　仝上　仝有甲痕

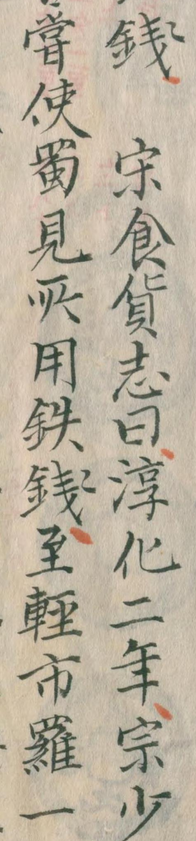
仝上　仝七分九重
仝上　仝一分九重
仝上　仝上
仝左上有甲痕　仝右有甲痕

右宋通元寶錢、宋太祖開寶中鑄、按背文穿上左右或有一星或有甲文、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

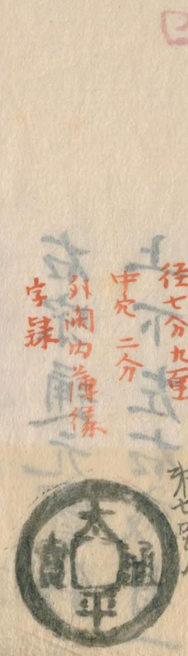
右太平通寶錢　太宗太平興國中鑄

右淳化元寶錢　宋食貨志曰淳化改鑄親書淳化元寶作真行草三體



右淳化大錢　宋食貨志曰淳化二年宗少正卿趙安易言嘗使蜀見民用鉄錢至輕市羅一匹為錢二萬堅請改鑄一當十大錢　按此錢徑寸重

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2　　ガラス使用



徑七分九厘
中穿二分
外廓内薄緣
宇隸

右太平通寶錢　太宗太平興國中鑄

（一元年即位即二六三六年之）

徑七分八厘　仝七分九厘　仝七分七厘
中穿二分　仝一分九厘　仝二分二厘　仝二分
外廓内薄緣　仝上　仝上　仝上
宇楷　仝上　宇行　仝上

北圖五品
文昌堂泉譜卷之四

右淳化元寶錢　宋食貨志曰淳化元寶作真行草三體

（一元年八二六五の年之）

徑九分九厘
中穿二分四厘
外廓内薄緣
宇隸（淳化元宝）

右淳化大錢　宋食貨志曰淳化二年宗少正卿趙安易言嘗使蜀見民用鉄錢至輕市羅一匹為錢二萬堅請改鑄一當十大錢　按此錢徑寸重

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

徑七分九厘
中穿二分
外廓内薄像
字肆

右太平通寶錢　太宗太平興國中鑄

徑七分八厘　仝七分九厘
中穿二分　仝一分九厘
外廓内薄像　仝上
字楷　仝上

仝　七分九厘
仝上　二分二厘
仝上

右淳化元寶錢　宋食貨志曰淳化元年八月五日鑄親書淳化元寶作真行草三體

徑九分九厘
中穿二分四厘
外廓内薄像
字隸（淳化元宝）

右淳化大錢　宋食貨志曰淳化二年宗少正卿趙安易言當使蜀見行用鉄錢至輕市羅一匹為錢二萬堅請改鑄一當十大錢　按此錢徑寸重

徑七分九厘
中穴二分
外廓内薄像
字肆

右太平通寶錢　太宗太平興國中鑄

徑七分八厘　仝七分九厘
中穴二分　仝一分九厘
外廓内薄像　仝上
字楷　仝上

收圖玉品
文昌堂泉譜卷之四

右淳化元寶錢　宋食貨志曰淳化元年八月五日

徑九分九厘
中穴二分四厘
外廓内薄像
字肆（淳化元宝）

右淳化大錢　宋食貨志曰淳化二年宗少卿趙安易言當使蜀見行用鉄錢至輕市羅一匹為錢二萬堅請改鑄一當十大錢梅此錢徑寸重

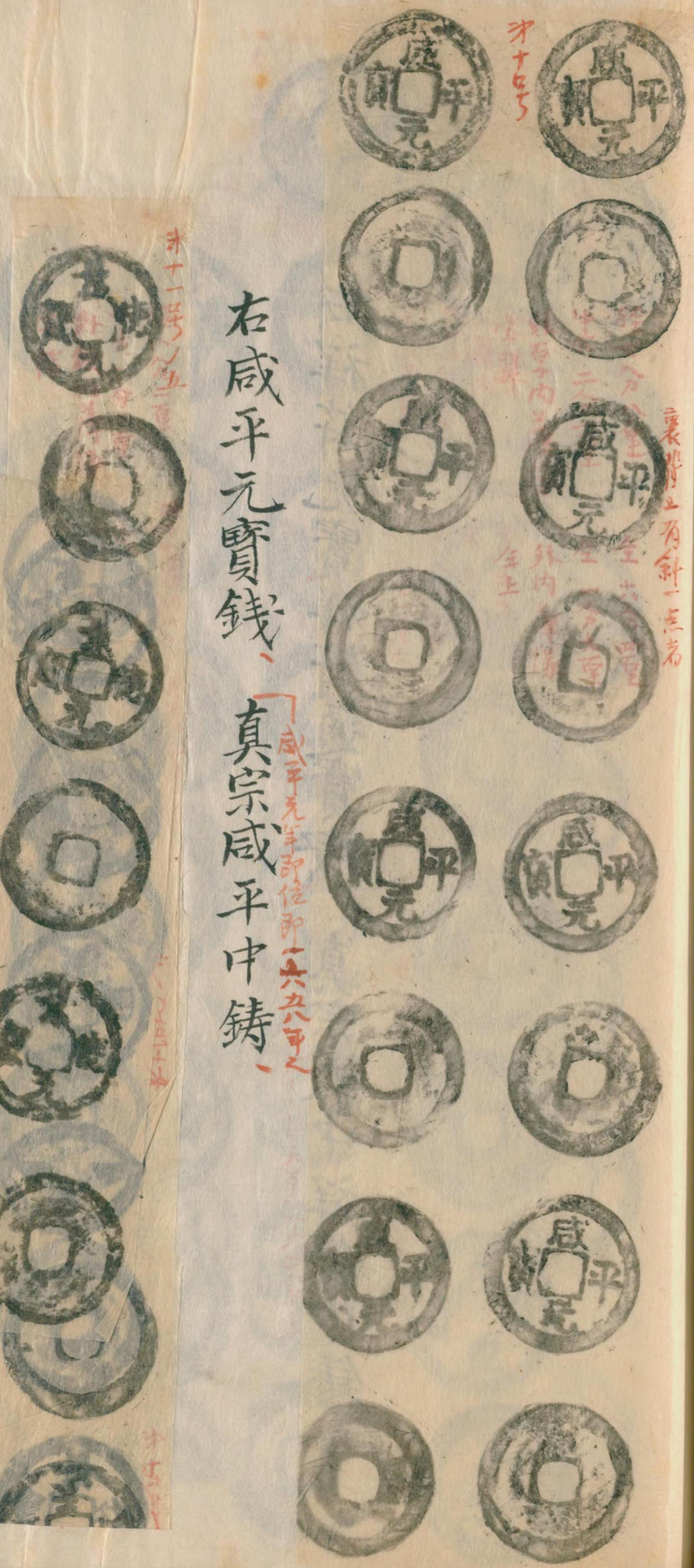
国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

二錢五分、輪郭渾重、製作不精、今世存者甚希、

右至道元寶錢、大宗至道中鑄、

右至道錢背文穿上有一星、

右咸平元寶錢、真宗咸平中鑄、



右景德元寶錢、真宗景德中鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2

ガラス使用

二錢五分、輪郭渾重、製作不精、今世存者甚希、

右至道元寶錢、大宗至道中鑄、

右至道錢背文穿上有一星、

右咸平元寶錢、真宗咸平中鑄、

右景德元寶錢、真宗景德中鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2

ガラス使用

二錢五分、輪郭渾重、製作不精、今世存者甚希、

右至道元寶錢、

大宗至道中鑄、

右至道錢背文穿上有一星、

右咸平元寶錢、

真宗咸平中鑄、

右景德元寶錢、

真宗景德中鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2　ガラス使用

二錢五分、輪郭渾重、製作不精、今世存者甚希、

右至道元寶錢、大

右至道錢背文穿上有一星、

右咸平元寶錢、

真宗咸平中鑄、

右景德元寶錢、

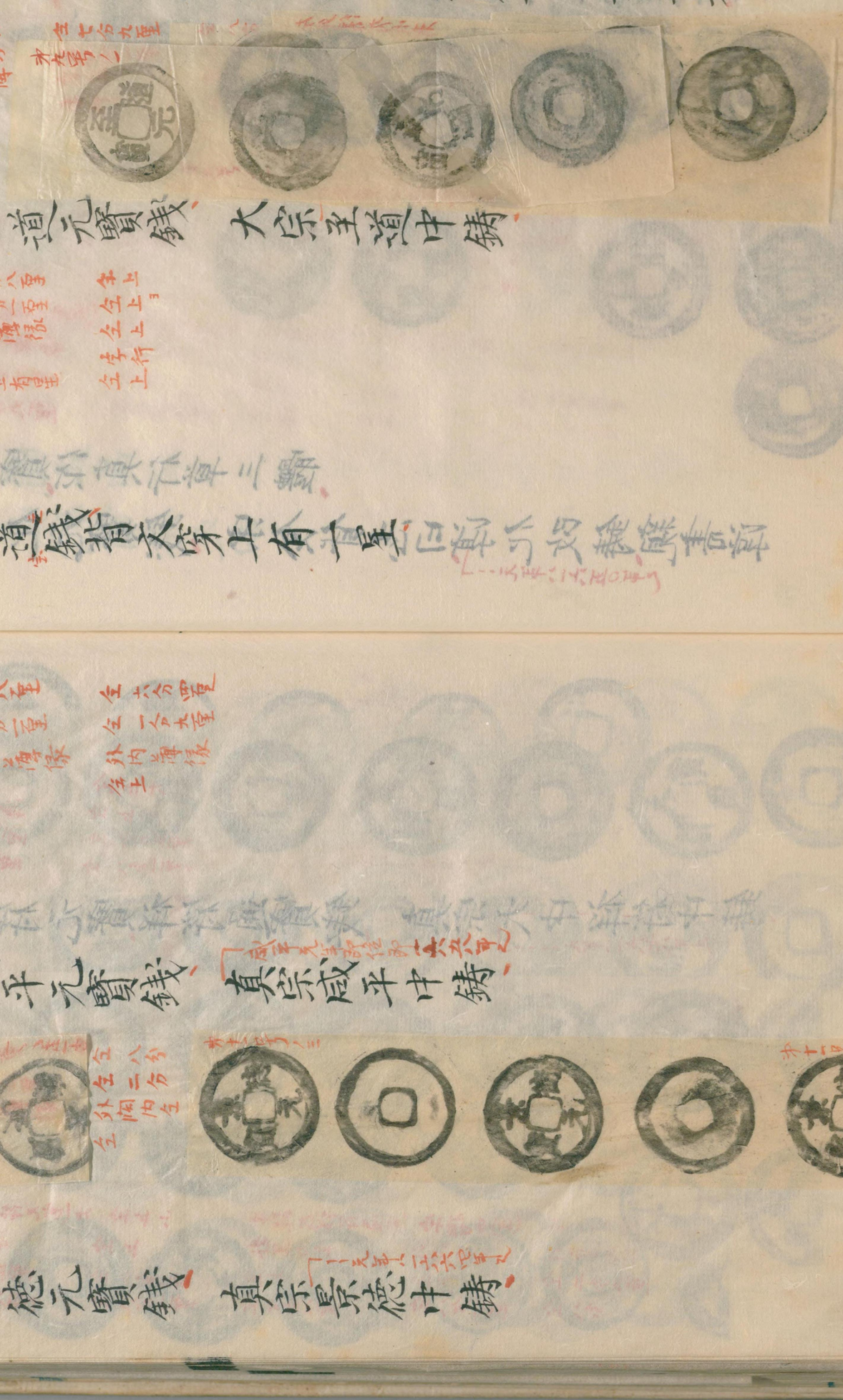
真宗景德中鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2

ガラス使用

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2


大宗至道中鑄
大宗至道元寶錢
真宗咸平中鑄
真宗咸平元寶錢
真宗景德中鑄
真宗景德元寶錢

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右天禧通寶錢、

右天聖元寶錢、

右明道元寶錢、

仁宗明道中鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2　ガラス使用

右祥符元寶、祥符通寶錢、

真宗大中祥符中鑄、

右天禧通寶錢、

右天聖元寶錢、

右明道元寶錢、仁宗明道中鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2

ガラス使用

右祥符元寶錢、

右天禧通寶錢、

右天聖元寶錢、

右明道元寶錢、

仁宗明道中鑄、

右祥符元寶折二錢

真宗大中祥符中鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2

ガラス使用

右天禧通寶錢、

右天聖元寶錢、

右明道元寶錢、仁宗明道中鑄、

右祥符元寶錢、真宗大中祥符中鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2

ガラス使用

右天禧通寶錢、

右天聖元寶錢、

右明道元寶錢、

仁宗明道中鑄、

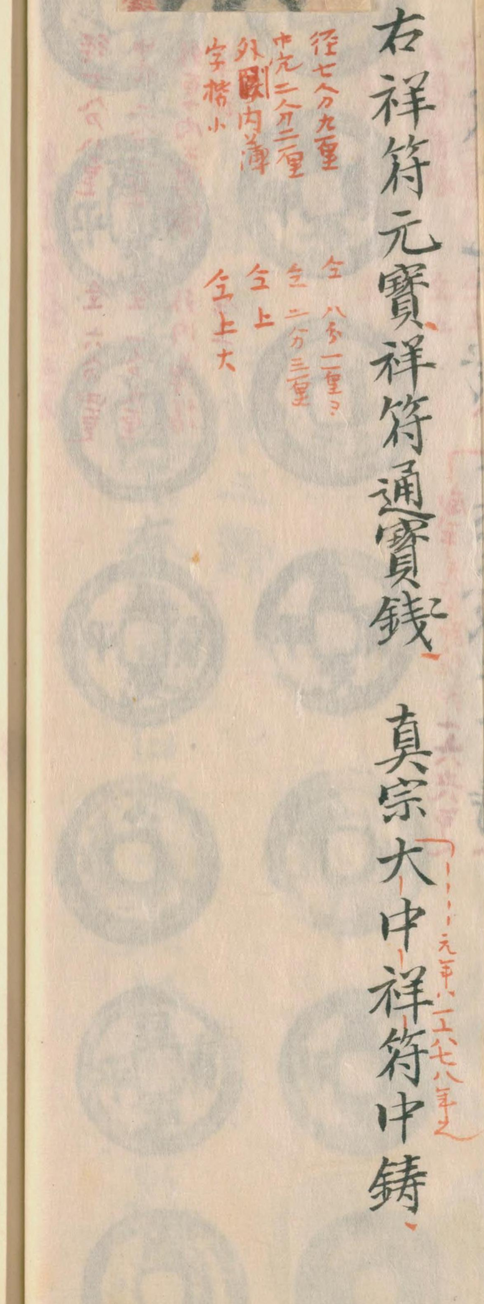
国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2

ガラス使用

径七分八厘　全八分二厘　全七分八厘
中穴一分九厘　全二分厘　全上
外湖内薄　全上　外郭内全
字楷（祥符元宝）大　全上小　字楷中全

径八分二厘　全八分
中穴二分二厘　全二分三厘
外郭内薄　全上
字楷小　全上大

右祥符元寶、祥符通寶錢、



真宗大中祥符中鑄、（一〇一〇年、一〇一七年之）

径八分
中穴二分四厘
外郭内薄
字楷

右天禧通寶錢、

右天聖元寶錢、

右明道元寶錢、仁宗明道中鑄、（一〇三二年、一〇三三年之）

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右天禧通寶錢、

第十六号

右天聖元寶金

第十七号

右明道元寶錢、

仁宗明

道中鑄、

元年八一六九二年之

元年八一六七七年之

径八分
中九二分四重
外狹内薄
字楷

径七分八重
中九一分九重
外闊内薄
字楷(祥符元宝)大 金上小

金八分一重
金二分一重
金上

金七分八重
金上
外闊内仝
字隷太祥符通宝)

金八分二重
金二分二重
外厚内仝
字楷中(仝)
字仝小(仝)

下方鞋穴者

第十三号

鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2

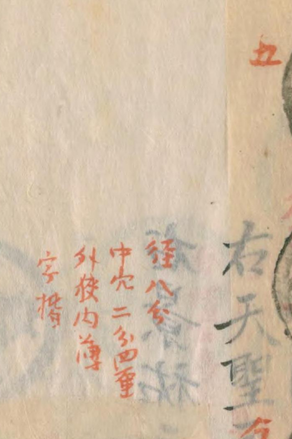
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右天禧通寶錢、眞宗

右天聖元寶

右明道元寶錢、仁宗明道中鑄、



国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2　ガラス使用

右天禧通寶錢、真宗天禧中鑄

徑七分一厘　重一錢八分八厘　文上
中穿二分四厘　重二錢二分　文上
外周薄緣　外廓内文　文小
字跡大

右天聖元寶錢

徑八分　重二錢七分八厘　文上
中穴二分四厘　重二錢二分一厘　文上
外廓内薄　文肉太
字楷

右明道元寶錢、仁宗明道中鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2

ガラス使用

右天禧通寶錢、真宗天禧中鑄

径七分一厘　仝八分八厘　仝七分八厘　仝上　仝上
中穴二分四厘　仝二分　仝二分四厘　仝二分一厘　仝上
外内薄縁　外濶内仝　外狹内仝　仝上　仝肉太
字肥大　仝小　仝小大　仝肉小

径七分六厘　仝七分七厘　仝八分一厘　仝七分九厘　仝七分八厘
中穴二分一厘　仝二分二厘　仝二分五厘　仝上　仝二分二厘
外薄内狹　仝　外狹内薄　仝上　仝上
字筆劣　仝下外縁断　仝上　仝上

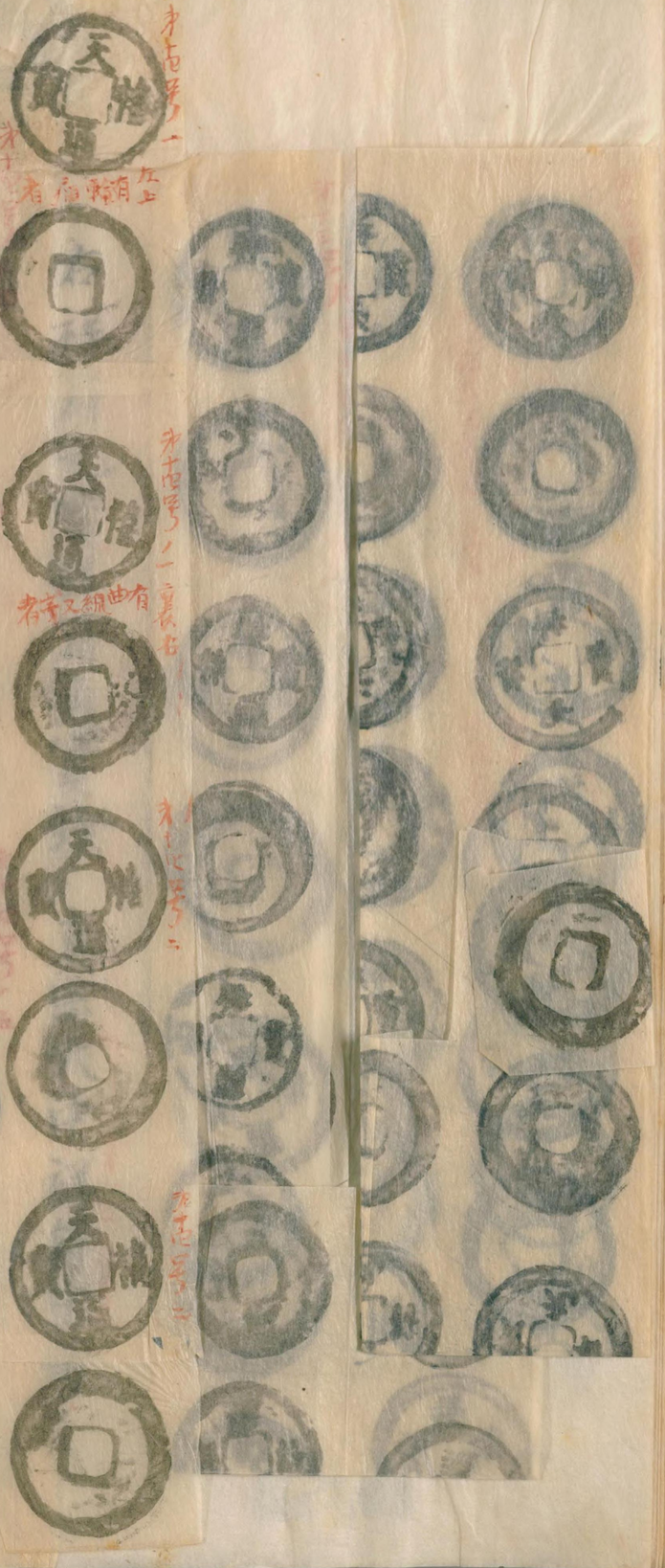
右天聖元寶錢、仁宗天聖中鑄、

天聖元年改元即二六三年

径八分
中穴二分四厘
外狹内薄
字楷

右明道元寶錢、仁宗明道中鑄、

元年八一六九二年之



国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2　ガラス使用

右天禧通寶錢、真宗天禧中鑄

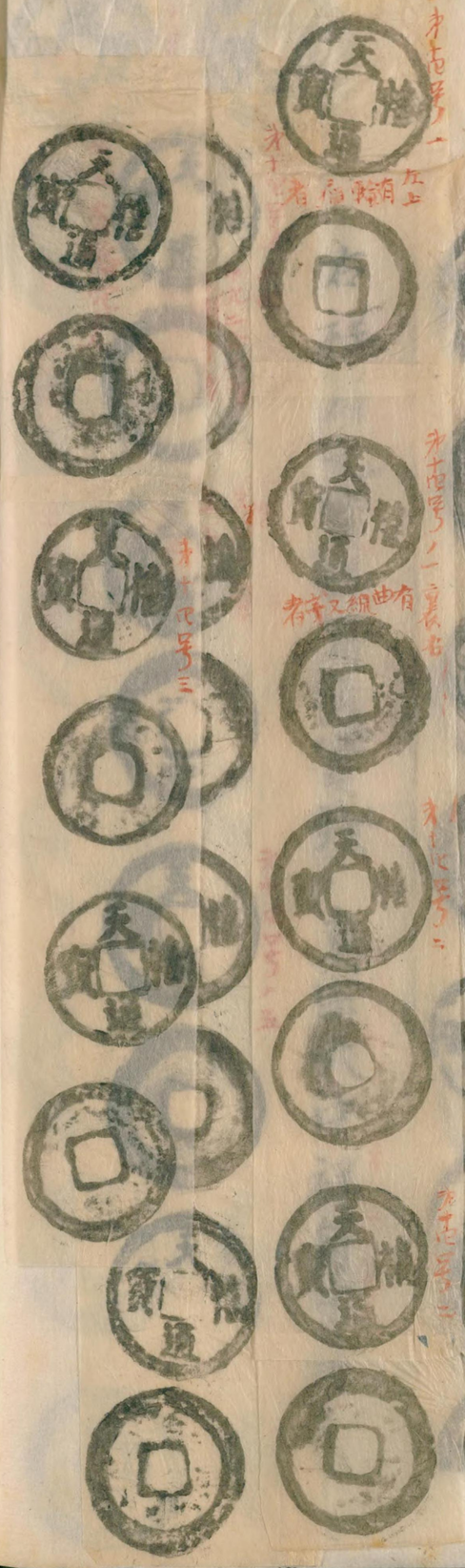
徑七分一厘　全八分八厘　全七分八厘　全上
中穴二分五厘　全二分　全二分四厘　全二分五厘　全上
外内薄緣　外闊内全　外狹内全　全上
字肥大　全小　全小大　全肉小

徑七分六厘　全七分七厘　全八分一厘　全七分九厘　全上
中穴二分一厘　全二分二厘　全二分三厘　全二分二厘　全上
外薄内狹　外廣内全　外狹内薄　全上　全上
字篆　全宋外緣欠　全上　全上

右天聖元寶錢、仁宗天聖中鑄、

全八分二厘
全上
全上
字篆

右明道元寶錢、仁宗明道中鑄、



国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右天禧通寶錢、真宗天禧中鑄

径七分一厘　仝上　仝七分八厘　仝上
中穴二分一厘　仝二分　仝二分四厘　仝二分五厘
外内薄縁　外濶内仝　外狭内仝　仝上
字肥大　仝小　仝小大　仝肉太

径七分六厘　仝七分七厘　仝八分一厘　仝七分九厘
中穴二分一厘　仝二分一厘　仝二分二厘　仝二分二厘
外薄内狭　外整内仝　仝上　仝上
字整　仝宋外縁觔　仝上　仝上

右天聖元寶錢、仁宗天聖中鑄、

天聖元年乃後即二六八三年

右明道元寶錢、仁宗明道中鑄、

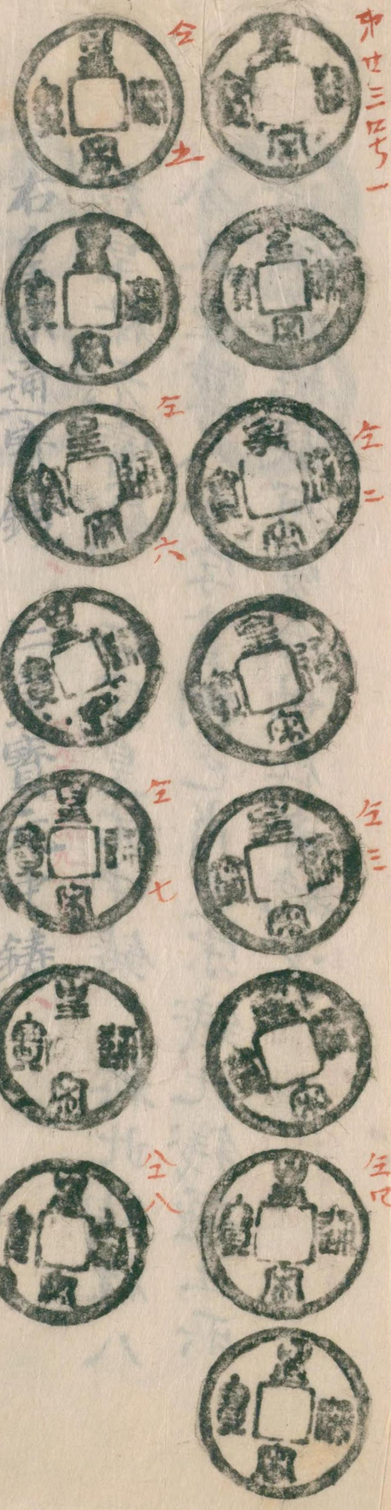
天聖元年八一六九二年之

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右景祐元寶
景祐中鑄

右景祐

景祐中鑄、



右景祐元寶

鑄

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2

ガラス使用

右景祐元寶錢、仁宗景祐中鑄、

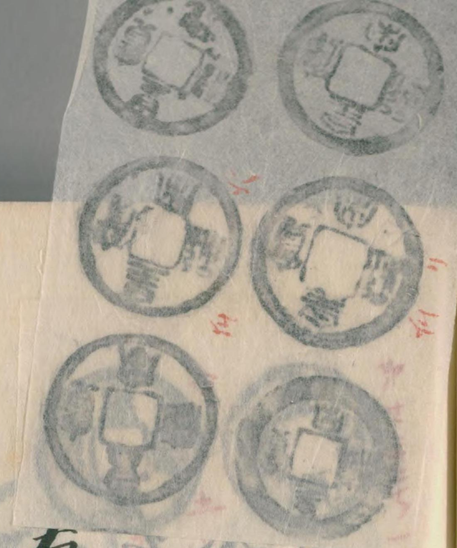
徑自八分二厘至七分九厘
肉自二分七厘至二分二厘
外自湖至薄内薄俵
字誌楷
以上十五種

徑自八分二厘至七分四厘
肉自二分七厘至二分一厘
外自湖至挍内薄
字篆
以上十五種

全八分
全二分四厘
外挍内全
字篆
全上

全七分七厘
全二分八厘
外挍内全
字篆
全上

右皇宋通寶錢、仁宗寶元中鑄、



徑七分九厘
肉二分七厘
外内薄俵
字楷(上慶下曆右皇左宝)

徑八分九厘
肉二分六厘
外厚内全
字誌(上慶右曆下皇左宝)

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』 請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右慶曆重寶錢、仁宗慶曆中鑄、徑八分五厘重八分、折二錢徑九分三厘重一錢二分、又挾食貨志云、鑄當五當十六錢、今世存者絶無、

右皇祐元寶錢、仁宗皇祐中鑄、挾此錢徑八分五厘重八分字畫銅色肖皇宋錢、此錢堀土取得銅花斑駁可愛、今世存者絶少、

右至和元寶通寶錢、仁宗至和中鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用

右慶曆重寶錢、仁宗慶曆中鑄、（一〇四一年）
分五厘重八分、字畫銅色肖皇宋錢徑九分三厘重一錢二分、
又挾食貨志云、鑄當五當十六錢今世存者絶無、

徑八分
中穴二分二厘
外緣内薄
字隸

右皇祐元寶錢、仁宗皇祐中鑄、（一〇四九年）挾此錢徑八
分五厘重八分、字畫銅色肖皇宋錢此錢掘土所
得、銅花斑駁可愛今世存者絶少

徑 七分九厘　全 七分六厘　全 七分五厘
中穴二分五厘　全 二分　全 二分三厘
外緣内廣　全上　外狹内全
字楷肉太 至和元寶　全肉小　字行

徑七分九厘　全上
中穴二分三厘　全 二分四厘
外緣内薄　全上
字楷 隸意 至和元寶　字篆（皇）

全 七分九厘　全 七分六厘
全 二分三厘　全 二分三厘
外狹内全　外狹全
字篆（皇）　全上　全（皇）

至和元寶　楷行篆
至和通寶　楷篆

右至和元寶通寶錢、仁宗至和元寶（一〇五四年）中鑄、

国立国会図書館　タイトル『文昌堂泉譜 5巻』　請求記号 寄別5-7-1-2
ガラス使用